

報 告 事 項 1

令和 4 (2022) 年度 事業報告

事業報告

重点事業

1 感染・災害対策の充実

- 1) 感染症防止対策についての研修や感染防止啓発事業の強化
- 2) 中小規模施設への感染防止対策支援
- 3) 災害支援ナース育成の推進と災害発生時の支援体制整備

2 時代のニーズに対応した質の高い看護職の育成とキャリア支援の推進

- 1) 安全で質の高い看護実践力を養う研修の実施とキャリア支援
- 2) 情報通信技術(ICT)を活用した研修受講の利便性の向上
- 3) 小規模施設、介護施設、クリニック等に勤務する新人から管理者までの継続教育及びクリニカルリーダー推進への支援

3 地域包括ケアの充実と多職種連携の推進

- 1) 訪問看護領域で働く看護職の育成と質向上
- 2) 地域包括ケア推進のための多職種連携の支援

4 看護職の働きやすい職場環境づくりへの支援と就業促進

- 1) 働きやすい職場環境づくりへの支援の充実
- 2) 看護職としてのキャリア継続支援の推進と就業支援の促進

表内 ※中止は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止

I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業(定款第4条第1項第1号 公益目的事業)

事業実施内容
1 県民に対する看護の普及活動 1) 看護週間行事 (1) 看護フェスティバル 令和4年5月7日(土) みなとみらいクイーンズサークル 参加者数 延 1,417 名 (2) 「一日看護体験」事業 実施期間 令和4年5月1日～8月31日 参加者数 2,994 名 県内病院等実施施設 66 施設 2) 県民に対する広報活動の強化 (1) 広報出版委員会の開催 【常任委員会活動報告(pp. 54～55)参照】 (2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行 年6回 計217,200部発行 配布先：病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載 (3) ホームページの充実・利用の促進 アクセス数 年435,398件(研修申込サイト除く)

事業実施内容
2 県民のための健康相談及び知識の普及 1) 健康相談事業の充実支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 活動支部 川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部 【支部活動報告(pp. 29～42)参照】 県看護協会訪問看護ステーション 年1回×3事業所 【訪問看護ステーション報告(pp. 64～70)参照】 2) 訪問看護の普及啓発を目的とした「かながわ訪問看護フェスティバル」の開催 令和4年10月22日(土)神奈川県総合医療会館7階 参加者数(関係者含) 延125名 3) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 県民及び看護職を対象とした禁煙の推進 「スモークフリー推進かながわ基金」への拠出及び禁煙に関する委員会への参加 4) 県内の医療職に対する緊急情報の周知 (1) トピックス研修 年1回 テーマ「《JNA収録》看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」 令和4年5月15日(日) 受講者180名 令和4年5月19日(木) 受講者189名 令和4年5月22日(日) 受講者168名 (2) 緊急情報のホームページへの掲載(随時)

Ⅱ 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業(定款第4条第1項第2号 公益目的事業)

事業実施内容		
1 訪問看護及び居宅介護支援事業		
1) 訪問看護事業		
医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと家族等への支援		
(1) 訪問看護ステーション所長会議 年 12 回		
(2) 訪問実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	13,505 件
	あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)	8,076 件
	おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	7,719 件
	洋 光 台訪問看護ステーション(横浜市)	9,315 件
	合計	38,615 件
2) 居宅介護支援事業		
要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援		
ケアプラン作成実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	713 件
	おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	620 件
	合計	1,333 件
3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価		
(1) 利用者満足度調査	年 1 回	

事業実施内容
(2) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年1回 4) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業 年1回×2事業所 5) 地域への活動 (1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 各訪問看護ステーション 年2回×4事業所 (2) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動 各訪問看護ステーションパンフレット作成 広報活動(広報誌、地域住民向け健康講座、SNS等の利用) (3) 訪問看護ステーション教育支援(県補助) 同行訪問研修 2人 7回 新任または経験の少ない訪問看護師への研修 教育担当者への研修 1回 6) 看護職員等の資質の向上 (1) 訪問看護ステーション内研修 訪問看護に関する情報共有、勉強会等 各訪問看護ステーション 月2〜4回 (2) 事例検討会 困難ケース等についての検討会 各訪問看護ステーション 年3回 (3) 研修への参加 訪問看護ステーション 年2回 7) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援 看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ 延137名/4ステーション 8) 関係機関との連携 関係団体との連携及び会議等への参加 各訪問看護ステーション 年8回

Ⅲ 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(定款第4条第1項第3号 公益目的事業)

事業実施内容
1 看護における医療安全体制強化のための支援 1) 医療安全情報収集・情報発信 医療安全対策委員会 年9回 【常任委員会報告(p.56)参照】 「医療安全情報」発行 年2回 3,000部 配布先 病院等施設 2) 医療安全・感染研修 医療安全講演会 年1回 1日 受講者 159名 3) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援 医療安全管理者情報交換と啓発活動 交流会 年11回 4) 関連団体との連携推進 (1) 日本看護協会との連携 (2) 神奈川県6団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加 会議 年2回 書面会議、オンライン会議 セミナー開催(ハイブリッド) 参加者 160名

事業実施内容

5) 医療安全に関する相談・情報提供

- (1) 医療事故に関係した看護職への支援、相談対応 65 件
- (2) 医療事故防止対策に関する広報
- (3) 「医療安全情報」のホームページ掲載
- (4) 医療安全推進週間の広報(11 月 25 日含む前後 1 週間)

2 災害時の看護支援活動の強化と普及

1) 関連団体との連携推進

(1) 日本看護協会との連携推進

日本看護協会災害支援ナース養成研修説明会

(2) 県・市合同総合防災訓練(ビッグレスキュー)への参加

・ 県市合同総合防災訓練会議 合同会議 2 回 作業部会 2 回

・ 県市合同総合防災訓練 令和 4 年 10 月 16 日

トリアージエリアにおける医療救護訓練 災害支援ナース 4 名参加

救護所 横須賀支部より 2 名参加

展示会場出展 災害救護対策委員 8 名 看護協会職員 5 名参加

(3) 県内関連施設との連携

県内関連施設との防災訓練

年 1 回 3 日 参加施設 39 施設 災害支援ナース参加者数 330 名

(4) 横浜市災害看護研修

・ 横浜市災害支援ナース登録推進研修 令和 4 年 11 月 29 日 受講者 31 名

・ 横浜市災害支援ナースフォローアップ研修 令和 5 年 1 月 29 日 受講者 22 名

2) 災害支援ナースの派遣

神奈川県及び日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣準備

湘南マラソン 救護活動 17 名参加

3) 災害への備え・広報活動

(1) 災害救護対策委員会 【常任委員会活動報告(p. 57)参照】

災害救護対策委員会 年 8 回

「かんご防災力 GO! ご存知ですか?福祉避難所」 発行 年 1 回 3,000 部

(2) 災害支援ナースの携行物品の整備

・ 災害支援ナース携行物品の消耗品の補充

(3) 災害看護研修の支援

・ JNA 収録 DVD 研修 (災害支援ナースの第一歩) 年 2 回 各 2 日

第 1 回 受講者 69 名、第 2 回 受講者 84 名

・ 災害看護マネジメント研修 年 1 回 1 日 受講者 61 名

・ 災害支援ナース育成研修(災害看護実務編) 年 3 回 各 2 日

第 1 回 受講者 25 名、第 2 回 受講者 49 名、第 3 回 受講者 30 名

(4) 災害支援ナース登録推進

・ 災害支援ナースフォローアップ研修 年 2 回(同日開催)

事業実施内容	
受講者 午前 47 名、午後 50 名 / 対象者 災害支援ナース登録者 ・災害支援ナース全員に災害看護冊子、災害支援ナースハンドブック(第 5 版)を送付 ・災害支援ナース募集 理事会・支部へ配布、周知依頼 ・災害支援ナース登録人数 371 名 令和 5 年 3 月 31 日現在 (5) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発 ・看護フェスティバル等で災害時お役立ち情報の実演、リーフレット配布 550 部 ・出前講座 3 か所(横浜市、藤沢市、逗子市)で開催 参加者 60 名 - 出前講座開催のチラシを県内全役所・役場 58 か所に配布 - 出前講座 配布・送付 災害時お役立ち情報・かんご防災力 G0 123 部配布 ・他県保育園からの依頼 災害時お役立ち情報・かんご防災力 G0 50 部配布 3 新型コロナウイルス感染症対策特別班 感染対策における知識の普及と予防活動への支援 1) 小規模施設の感染予防対策の充実 認定看護師による出張相談 8 施設 10 回 延参加者 242 名 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口・フォローアップ 178 件 3) 神奈川県委託事業 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修会 令和 5 年 2 月 19 日 受講者 38 名 4) 県民対象とした感染防止についての知識の普及と啓発 ・看護フェスティバルでの手指消毒チェック ・感染対策啓蒙リーフレット 手ぬぐい作成 ・グリッターバッグ貸出し事業 5 施設 45 日間 87 名 5) 日本看護協会委託事業 新型コロナウイルス対応看護職員養成研修(オンデマンド研修) 12 月 22 日から 2 月 14 日まで配信 修了者 177 名	

IV 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(定款第 4 条第 1 項第 4 号 公益目的事業)

事業実施内容	
1 看護職の資質向上の支援 1) 継続教育の推進 (1) 看護実践能力研修 年 32 回 延 38.5 日 延受講者 1,615 名 (2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修年 18 回 延 24 日 延受講者 951 名 (3) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：新人看護師) 全 1 日間 受講者 51 名 (4) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：中堅看護師) 全 7 日間 受講者 10 名 (5) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：看護管理者) 全 7 日間 受講者 15 名 (6) 研修運営事業 「教育計画」タブロイド判作成 48,000 部 (7) オープンセミナー 病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開 実施施設 19 施設 延 118 研修(※うち中止 7 研修)	

事業実施内容

参加者延 1,187 名 + α (参加人数不明研修あり)

(8) 教育計画・事業(案)説明会 年 1 回 参加アカウント数 (Zoom) : 79

(9) 新人支援研修・復職支援研修 (オンライン教育ツール「ナーシングスキル」の配信) 受講者 67 名

2) 新人看護職員研修の充実

(1) がんばれ! 新人ナース!! 年 1 回 受講者 589 名

3) 看護研究の充実

(1) 神奈川看護学会の開催

令和 4 年 11 月 26 日 (土) パシフィコ横浜アネックスホール 来場者 445 名

・運営委員会 年 4 回 【常任委員会活動報告 (pp. 57~58) 参照】

・査読会議 年 1 回

・看護研究奨励賞選考会議 年 1 回

(2) 看護研究推進支援 研究指導講師紹介 6 グループ

4) 教育企画運営に向けての支援

(1) 教育研修委員会 【常任委員会活動報告 (pp. 53~54) 参照】

(2) 准看護師教育検討委員会 【常任委員会活動報告 (p. 58) 参照】

2 看護職の活動の充実

1) 職能における研修等 【職能委員会活動報告 (pp. 24~28) 参照】

2) 支部における研修等 【支部活動報告 (pp. 29~42) 参照】

3) 看護職員の就業環境改善の促進

(1) 業務委員会 【常任委員会活動報告 (p. 55) 参照】

(2) 社会経済福祉委員会 【常任委員会活動報告 (pp. 52~53) 参照】

3 地域看護の推進と拡充

1) 地域看護の質向上と推進

(1) 訪問看護の推進

訪問看護ステーション一覧の作成 2,000 部

配布先: 訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載

(2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置

訪問看護等に関する相談、助言 月~金 年 190 件

2) 地域看護の質向上に関する研修

(1) 地域看護における看護職員の育成

・訪問看護入門研修会 年 5 回 2 日 受講者 延 160 名

・訪問看護師養成講習会 年 1 回 10 日 + e ラーニング 195 時間相当
受講者 52 名

・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 年 1 回 3 日 受講者 33 名

・地域連携のための相互研修会 年 2 回 3 日 受講者 111 名

・介護保険施設等看護研修 I (基礎レベル) 年 1 回 3 日 受講者 55 名

・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護学生対象) 受講者 149 名

事業実施内容			
(2) 地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立			
・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル)	年1回 3日	受講者	52名
・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会	年1回 11日	受講者	66名
・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護師対象)	年2回 1日	受講者	71名
・高齢者の終末期看護研修(ELNEC-JG)	年1回 2日	受講者	51名
(3) 地域看護におけるトップマネジャーの育成			
・訪問看護ステーション管理者研修会	年3回 4日	受講者	延172名
・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	年1回 3日	受講者	46名

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(定款第4条第1項第5号 公益目的事業)

事業実施内容			
1 看護職員確保定着対策の推進			
1) 看護師等の無料職業紹介事業(本所及び相模原支所)			
(1) 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供			
求人相談 年 3,710 件、求職相談 年 4,038 件			
(2) 第6次 NCCS の運用			
就職数 年 671 件 (延べ)			
(3) 相談員の質の向上			
都道府県ナースセンター相談員研修 2 回			
2) 届出制度の促進及び支援事業			
(1) 届出制度の普及 届出数：6,873 人			
(2) 届出者の情報管理 就職・研修等の情報提供 1 回以上/月			
3) ハローワーク・ナースセンター連携事業			
(1) 労働局・公共職業安定所との連携			
・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換			
・巡回相談の実施 月 1 回 7 か所 面談者 174 人			
・運営及び情報共有の会議 連絡調整会議の開催 年 1 回、求人・求職の情報共有			
・相談会等への相談員の派遣 連携した相談・見学会の実施 年 1 回			
・連携セミナーの開催 セミナー回数 7 回 参加者 78 名			
4) 広報活動及び情報提供事業			
(1) 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布			
未就業看護職・施設等への配布 5,500 部			
(2) 看護学生・教員への周知			
卒業年度学生へ「はたさば」配布 41 校 3,160 部			
(3) 年報の発行 200 部 配布先：行政機関等 91 か所			
(4) 医療・看護・介護に関するビデオ・DVD の貸出(館内・館外) 利用件数 年 68 件			
(※新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限あり)			
(5) ナースセンターホームページによる広報の強化			

事業実施内容

求人・求職登録増にむけた内容修正 随時

(6) 講師派遣 中学校 1 校 高等学校 6 校 看護専門学校等 3 校

5) 関係機関との連携・会議

(1) 中央・都道府県ナースセンターとの連携 通年 / 随時

(2) 社会福祉協議会福祉人材センターとの連携

・福祉施設等就職相談会等への協力・後援

福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力

(3) 会議

・看護職員確保対策連絡協議会 年 1 回

・ナースセンター事業運営会議 年 1 回

・ナースセンター連絡会議 年 1 回

・都道府県ナースセンター事業担当者会議 年 1 回（オンライン形式にて実施）

6) 看護職員の定着を図るための相談事業

就業者の就業相談の実施 相談内容の分類と分析/通年

7) 研修支援事業

(1) 未就業看護師等への「復職支援研修」

年 5 回 各回定員 30 名 受講者 136 名 就業者数 27 名

(2) 定着に向けた「就職定着自己学習会」定期開催

年 6 回 各回定員 10 名 受講者 38 名 定着数 23 名

e ラーニング受講者：30 名

(3) 看護職のキャリア継続支援研修「キャリアをつなぎ・いかす」

定員 300 名 応募者 186 名 受講者 149 名

8) 厚生労働省委託事業 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業

(1) 離職防止相談事業 相談件数 19 件

(2) 潜在看護職研修事業 年 5 回（※中止 1 回） 応募 140 名 受講者 80 名

9) 厚生労働省委託事業 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材調整事業

(1) 広域人材調整事業 派遣依頼調整なし 潜在看護職員のメーリングリスト 1,828 名連絡

2 看護に関する普及啓発事業の充実

1) 進路相談事業 通年 相談件数 40 件/年

2) 看護フェスティバル開催への協働

看護フェスティバルでの進路相談 84 名

3) 一日看護体験の案内 期間 5 月 1 日～8 月 31 日 協力施設 66 施設 / 2,994 名

4) 看護の仕事の普及啓発

若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発

「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布 中学・高校へ 674 校

Ⅵ 会員に対する支援事業(定款第4条第2項第1号 収益事業)

事業実施内容	
1 会員に対する情報提供等事業	
1) 職能委員会における情報提供等	【職能委員会活動報告(pp. 24～28)参照】
2) 支部における情報提供等	【支部活動報告(pp. 29～42)参照】
2 会員に対する福利厚生事業	
1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進	加入者数 8,088 名
2) 表彰	
3) 神奈川県看護協会指定店事業	指定店 約 300 店舗
4) 会員の慶弔等への対応	弔慰金支給 13 件
5) 会員相互の親睦を深める機会の充実	
・会員交流会	令和4年11月19日(土) 参加者 61 名
・新春のつどい	※中止
6) お年玉プレゼント(広報出版委員会)	当選者 58 名
7) 会員サポート事業	
3 会員に対する研修支援事業	
1) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援	
(1) 認定看護管理者教育課程事業	
・認定看護管理者教育課程運営会議	定例会 年 3 回
・ファーストレベル 研修期間	令和4年 5 月 12 日～ 令和4年 8 月 26 日 受講者 75 名
・セカンドレベル 研修期間	令和4年 10 月 6 日～ 令和5年 2 月 24 日 受講者 50 名
・ファーストレベルフォローアップ研修	年 1 回 受講者 50 名
・セカンドレベルフォローアップ研修	年 1 回 受講者 27 名
・セカンドレベル修了者交流研修	年 1 回 受講者 32 名
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修	年 11 回 延 13.5 日 延受講者 806 名
(3) 医療安全管理者養成研修 e ラーニング+オンライン	1 日 受講者 126 名
(4) 医療安全管理者フォローアップ研修	年 1 回 1 日 受講者 30 名
(5) 感染管理研修	年 1 回 半日 受講者 80 名

Ⅶ 法人の管理に関する事業(定款第4条第2項第2号 法人管理事業)

事業実施内容	
1 職能団体としての組織・運営強化	
1) 諸会議の開催	
(1) 通常総会	令和4年 6 月 17 日(金)
(2) 理事会	定例理事会 5 回 臨時理事会 1 回
(3) 事業説明会	年 1 回
(4) 財政会議	【会議活動報告(p. 59)参照】
(5) 新聞への広告掲載	年 2 回
2) 日本看護協会との連携	

事業実施内容

- (1) 通常総会への参加 令和4年6月8日(水) 開催地：幕張メッセ（千葉県）
- (2) 全国職能集会への参加 令和4年6月9日(木) 開催地：幕張メッセ（千葉県）
- (3) 地区別法人会員会・職能委員長会（関東甲信地区）の開催

令和4年10月27日(木)、28(金) 開催地：山梨県

3) 公益法人に関する業務等 ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用

4) 事務局機能の整備・充実

- (1) 事務局情報通信システムの運用・管理
- (2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加

事務局・訪問看護ステーション研修 年各1回、 学会参加 年5回

5) 委員会

- (1) 推薦委員会 【常任委員会活動報告(p. 52) 参照】
- (2) 会員委員会 【常任委員会活動報告(pp. 55～56) 参照】
- (3) 看護研究倫理審査会 年2回 【会議活動報告(p. 59) 参照】

2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進

1) 神奈川県・県議会への要望活動 年2回

2) 神奈川県との連携

地域医療の神奈川モデル事業

中郡内新型コロナウイルス感染者のサポート業務

3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進

理 事 会 報 告

会 長 長 野 広 敬

Ⅰ．開催回数 5回＋臨時1回

Ⅱ．開催状況

場所 神奈川県看護協会第1研修室等

	日 程	出席者		
		理事	監事	事務局
第1回	令和4年 5月 14日 (土)	19	2	3
臨 時	令和4年 6月 17日 (金)	19	2	3
第2回	令和4年 7月 2日 (土)	19	2	3
第3回	令和4年 10月 1日 (土)	20	2	3
第4回	令和4年 12月 10日 (土)	20	1	3
第5回	令和5年 3月 4日 (土)	19	2	3

Ⅲ．主な内容

＜第1回＞

■ 審議事項

- 1 令和4(2022)年度公益社団法人神奈川県看護協会通常総会について
- 2 令和4(2022)年度公益社団法人神奈川県看護協会改選役員候補者について
- 3 令和4(2022)年度職能委員・支部委員・常任委員について
- 4 令和3(2021)年度事業報告(案)について
- 5 令和3(2021)年度決算報告書(案)及び監査報告書について
- 6 令和4(2022)年度事業計画・予算(案)の変更について(ナースセンター関連)
- 7 公益社団法人神奈川県看護協会個人情報保護等管理規程の改訂について
- 8 各委員会、支部定例会等の日当について(旅費の規程の一部変更)
- 9 公益社団法人神奈川県看護協会講師謝礼金等支払い規程の改訂について
- 10 公益社団法人神奈川県看護協会支部運営規程の改訂について

■ 協議事項

- 1 一斉発送について
- 2 職能委員会の委員数について
- 3 寄付金について

■ 報告事項

- 1 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会理事会・法人会員会について(5/12)
 - 2) 公益社団法人神奈川県看護協会将来構想策定委員会報告書
 - 3) 令和5(2023)年度神奈川県への行政要望について
 - 4) 認定教育課程・学会・研修等について
 - 5) かながわ看護フェスティバル2022実施報告について
 - 6) 令和4(2022)年度神奈川県看護協会職員体制について
 - 7) 支部研修に係る業務及び事務局支部担当者について
 - 8) 令和4(2022)年度日本看護協会代議員研修会について
 - 9) 非常勤事務職の時給の変更について
 - 10) 相模原支部 日看協看護業務効率化試行支援事業中間報告
- 2 職能・支部理事報告

〈臨時〉

■ 審議事項

- 1 業務執行理事の選定について

■ 報告事項

- 1 改選役員の担当業務について

〈第2回〉

■ 審議事項

- 1 令和4年度収支予算の補正について
- 2 公益社団法人神奈川県看護協会就業規則の改訂並びにテレワーク規程の制定について

■ 協議事項

- 1 公益社団法人神奈川県看護協会ビジョン2033(仮)

■ 報告事項

- 1 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会第2回理事会(6/8)
 - 2) 令和5(2023)年度神奈川県への行政要望について
 - 3) 令和5(2023)年度事業計画案検討会について
 - 4) 令和4(2022)年度事業説明会について
 - 5) 令和3(2021)年度神奈川県看護協会職員職能別・施設別・支部別集計
 - 6) 認定教育課程・学会・研修等について
 - 7) 看護フェスティバル2022協賛金について
 - 8) 訪問看護フェスティバルについて
 - 9) 明治安田生命との連携
 - 10) 合同防災通信訓練について
- 2 職能・支部理事報告

〈第3回〉

■ 審議事項

- 1 公益社団法人神奈川県看護協会職員就業規則・細則の改定
- 2 公益社団法人神奈川県看護協会職員給与規程の改定
- 3 公益社団法人神奈川県看護協会ハラスメント防止等規程および委員会規則の改定
- 4 公益社団法人神奈川県看護協会定年再雇用規程(案)
- 5 公益社団法人神奈川県看護協会任期付き契約職員制度に関する規程(案)
- 6 公益社団法人神奈川県看護協会 会員の傷病見舞金及び弔慰金給付規程の改定
- 7 令和4年度予算の補正について

■ 協議事項

- 1 公益社団法人神奈川県看護協会ビジョン2033

■ 報告事項

- 1 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会理事会・法人会員会について(7/28.29.9/30)
 - 2) 令和5(2023)年度行政要望の提出について
 - 3) 神奈川県・市からの委託事業について
 - 4) 認定教育課程・学会・研修会等について
 - 5) サンリオピューロランド無料ご招待実施報告
 - 6) 令和4(2022)年度かながわ訪問看護ステーション一覧について
 - 7) 会員交流会について
 - 8) 2年目ナース交流会(前日本看護協会見学ツアー)
 - 9) 令和5(2023)年新春のつどいについて
 - 10) ナースセンター年報について
 - 11) 令和4(2022)年度合同防災通信訓練実施報告
 - 12) 看護研究倫理審査会実施報告
- 2 職能・支部理事報告

■ 依頼事項

- 1 看護協会支部推薦による看護職の表彰について
- 2 職能・支部のキャビネットの整理
- 3 入会パンフレットの配布について

<第4回>

■ 審議事項

- 1 事務局長の後任について
- 2 公益社団法人神奈川県看護協会給与規程の改定について
- 3 公益社団法人神奈川県看護協会事務局組織規則の改定について
- 4 令和4(2022)年度第3次収支補正予算について

■ 協議事項

- 1 令和5(2023)年度重点事業(案)・事業計画(案)について
 - 1) 令和5(2023)年度重点事業(案)
 - 2) 令和5(2023)年度事業計画(案)
- 2 令和5(2023)年度公益社団法人神奈川県看護協会役員の推薦及び立候補について
- 3 理事会の開催について

■ 報告事項

- 1 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 地区別法人委員会・日本看護協会理事会等(10/27)、(11/24・25)
 - 2) 令和5(2023)年度日本看護協会通常総会代議員について
 - 3) 国への要望に対する回答について
 - 4) 神奈川県医療局幹部との意見交換について
 - 5) 組織改編に伴う6階事務室等改修工事の概要
 - 6) 認定教育課程・研修等について
 - 7) 神奈川看護学会実施報告
 - 8) かながわ看護フェスティバル2023について
 - 9) かながわ訪問看護フェスティバル2022実施報告
 - 10) 会員交流会実施報告
 - 11) 2年目ナース交流会報告(旧日本看護協会見学ツアー)
 - 12) 令和4(2022)年度神奈川県看護協会推薦による各賞受賞者
- 2 職能・支部理事報告

■ 依頼事項

- 1 令和4(2022)年度行政機関及び関係団体委員等への就任状況について
- 2 令和5(2023)年度神奈川県看護協会会長表彰の推薦について

<第5回>

■ 審議事項

- 1 令和5(2023)年度事業計画(案)について
- 2 令和5(2023)年度収支予算書(案)について
- 3 令和5(2023)年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について
- 4 公益社団法人神奈川県看護協会規程の改正(組織改編に伴う名称の変更による)(案)について
- 5 公益社団法人神奈川県看護協会印章管理規程の改正(案)について

■ 協議事項

- 1 令和5(2023)年度神奈川県看護協会通常総会について
- 2 令和5(2023)年度神奈川県看護協会改選役員について
- 3 令和5(2023)年度神奈川県看護協会会長表彰候補者(案)について

■ 報告事項

- 1 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会理事会・法人委員会について(2/20-21)
 - 2) 令和5(2023)年度要望に対する神奈川県からの回答について
 - 3) 令和6(2024)年度日本看護協会代議員数及び通常総会開催地等について

- 4) 令和 5(2023)年度神奈川県看護協会教育計画について
 - 5) 認定教育課程・学会・研修等について
 - 6) かながわ看護フェスティバル 2023 について
 - 7) 看護職員の賃金制度の抜本的見直しに関する勉強会実施結果
 - 8) 災害支援ナースについて
 - 9) 工事の進捗状況について
 - 10) 新人研修について
 - 11) 助産師職能委員会による調査結果からの提言
- 2 職能・支部理事報告

令和4(2022)年度

地区別法人会員会報告

会長 長野 広敬

開催日時 令和4年10月27日(木)

当 番 公益社団法人山梨県看護協会

場 所 ハイランドリゾートホテル&スパ(山梨県富士吉田市)

- 内 容
- 1 認定看護管理者制度改正の骨子案について
 - 1) 認定看護管理者制度の成り立ち・制度の見直しの必要性の説明
 - 2) 認定看護管理者制度改正の骨子案について
 - 3) 今後の検討予定について
 - 2 生涯学習支援における日本看護協会と都道府県看護協会の役割について
 - 1) 生涯学習支援体制の構築の検討経緯について説明
 - 2) 論点
「働く場・領域を問わない学習機会提供」の日本看護協会と都道府県看護協会の役割について
 - 3 「今後のナースセンターによる看護職確保の方針」に基づく方策(案)について
 - 1) 論点
 - (1) 「看護職確保の方策」の作成に向けて、過不足はないか
 - (2) 都道府県ナースセンターが方策に取り組むためには、どうすればよいか

職 能 委 員 会 活 動 報 告

保健師職能委員会

委員長 小田 真智子

Ⅰ 活動目標

県民の健康的な暮らしの実現のため、予防的視点を常に持ち健康課題の解決に向けて取り組み、具体的な保健師活動の技術や専門性の向上を図る。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 最新情報の提供や研修会等を通して、地域で働く保健師全体の資質の向上を図る。
- 2) 県内の各分野で働く保健師等が交流し、情報交換をすることで相互の連携を図る。
- 3) 日本看護協会職能委員会と連動した研修や活動を行い、最新情報の把握や周知に努める。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 研修会の企画・実施・評価 2) 審議事項の検討 3) 理事会等の報告・情報交換 ※2月, 3月は中止、5月, 6月, 11月, 12月はオンラインにて開催	全 10 回 (2, 3月中止)	9 名
研 修 会 【同上】	◆オンライン形式で実施 テーマ:「最近注目の“コミュニティーナース”ってなあに? ～人とつながり、まちを元気にするコミュニティーナース～」 講 師: Community Nurse Company 株式会社 取締役 中澤 ちひろ氏	R4. 10. 14(金)	72 名
	<保健師職能・看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱとの共同開催> ◆ハイブリット形式で実施 テーマ:「それぞれの立場から患者に寄り添う ACP を考える」 講 師: 一般社団法人プラスケア代表理事 川崎市立井田病院・かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科 部長 西 智弘	R5. 1. 13(金)	195 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 講演会や職能だよりを通して会員増を図る。
- 2) 全国保健師長会などの職能団体と連携し、ネットワーク強化に努める。
- 3) 職能委員会活動や講演会の内容等を報告し、多様な保健師活動を共有する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
職能集会 【神奈川県看護協会】	◆オンライン形式で実施 令和 3 年度活動報告・令和 4 年度活動計画の説明、日本看護協会全国保健師交流集会報告等	R4. 7. 14(木)	41 名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
講 演 会 【同 上】	◆オンライン形式で実施 テーマ：「楽しく仕事をするモチベーションアップ術 ～自分も周りも勇気づけていくために～」 講 師：株式会社ウェルネスライフサポート研究所 代表取締役 加倉井 さおり		
職能だより	第 58 号 800 部	R4. 12 月発行	

助産師職能委員会

委員長 布施 明美

I 活動目標

- 1 母子保健・周産期医療サービスの最善をつくり、母子の安全・安心な医療推進に向け助産師の専門性を高め、実践能力の向上を図る。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 助産実践能力の向上に役立つ研修会の企画・実施
- 2) 各分野・他団体と交流し、知識の向上と連携を図る。
- 3) 助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証にむけて情報提供及び研修支援

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 理事会及び全国職能委員会等の報告・情報交換 2) 審議事項の検討 3) 研修および講演会の企画・実施・評価	全 11 回	10 名
研 修 会 【同 上】	◆オンライン形式で実施 テーマ：「CTG 判読と母体感染のリスクと対応」 講 師：神奈川県立こども医療センター 副院長 産婦人科部長 石川 浩史	R4. 10. 21 (金)	57 名
	＜神奈川県助産師会との共同開催＞ テーマ：1) 「産後ケアにおける助産師の役割」 講 師：湘南医療大学専攻科助産学専攻 准教授 青島 恵美子 テーマ：2) 「産後ケアの実践」 講 師：かもめ助産院 院長 鈴木 令佳	R4. 11. 25 (金)	70 名 ※助産師会 参加者含む
	◆オンライン形式で実施 テーマ：「学ぼう！助産ケア」 講 師：ウパウパハウス岡本助産院 院長 岡本 登美子	R5. 1. 20 (金)	35 名
	テーマ：「周産期メンタルヘルス」 講 師：ウパウパハウス岡本助産院 院長 岡本 登美子	R5. 2. 10 (金)	60 名

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で神奈川県看護協会助産師職能における事業内容や活動等の情報を提供する。
- 2) 研修を通じ会員交流と情報交換の活性化を図る。

- 3) 職能だより、研修会等を通して助産師職能委員会活動を広報する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
職能集会 【神奈川県看護協会】	1) 令和3年度活動報告 2) 令和4年度活動計画	R4. 7. 22(金)	48 名
研 修 会 【同 上】	テーマ：「授乳支援」 講 師：みやした助産院 院長 宮下 美代子		
職能だより	第45号 部数:1,500部	R4. 8 月発行	

看護師職能委員会 I（病院領域）

委員長 横田 弘子

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する。
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 医療・福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 2) 看護職の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 研修会の企画・実施・評価 2) 実態調査計画・実施・まとめ ※1月は中止	全 11 回 (1月中止)	11 名
研 修 会 【同 上】	◆オンライン形式で実施 テーマ：「今だから感情と看護を考えよう」 講 師：Office-Asako 代表 日本赤十字看護大学名誉教授 武井 麻子	R4. 10. 1(土)	93 名
	<保健師職能・看護師職能委員会 I・IIとの共同開催> ◆ハイブリット形式で実施 テーマ：「それぞれの立場から患者に寄り添う ACP を考える」 講 師：一般社団法人プラスケア代表理事 川崎市立井田病院・かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科 部長 西 智弘	R5. 1. 13(金)	195 名

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で事業計画を説明し看護師職能委員会 I の活動を周知する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
職能集会 【神奈川県看護協会】	◆ハイブリット形式で実施 1) 令和3年度看護師職能委員会Ⅰ活動報告 2) 令和4年度看護師職能委員会Ⅰ活動計画	R4. 7. 30(土)	111 名
講 演 会 【同 上】	テーマ：「幸せに働くコツ～幸福学の観点から～」 講 師：慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 前野 隆司		

看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

委員長 平田 祐子

Ⅰ 活動目標

- 1 地域に求められる質の高い看護サービスを提供できるよう、人材の育成と確保を目指す。
- 2 県内の介護・福祉関係施設・在宅等の領域で従事する看護師職能ネットワーク強化を図り、切れ目のない看護の提供ができる。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 介護・福祉関係施設・在宅領域におけるケアの質向上に関わる研修の実施と課題の検討
- 2) 定例会・研修会を通して、看護職の交流や情報交換の活性化を図る。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 理事会報告および全国職能員会等の報告・情報交換 2) 事業計画の検討・実施（職能集会、研修会・講演会の実施） 3) 地域看護における課題の検討、情報交換と共有	全 11 回	11 名
研 修 会 【同 上】	＜訪問看護フェスティバルとの共同開催＞ テーマ：「支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～」 講 師：藤川幸之助（詩人・児童文学作家）	R4. 10. 22(土)	91 名
	＜保健師職能・看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱとの共同開催＞ ◆ハイブリッド形式で実施 テーマ：「それぞれの立場から患者に寄り添うACPを考える」 講 師：一般社団法人プラスケア代表理事 川崎市立井田病院・かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科 部長 西 智弘	R5. 1. 13(金)	195 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会等で事業計画を説明し、看護師職能委員会Ⅱの活動を周知する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
職能集会 【神奈川県看護協会】	◆職能集会・講演会共にハイブリッド形式で実施 1) 令和3年度看護師職能委員会Ⅱ活動報告 2) 令和4年度看護師職能委員会Ⅱ活動計画	R4.8.6(土)	59名 会場12名 オンライン 47名
講演会 【同上】	テーマ：「高齢者虐待について」 講 師：横浜市立大学名誉教授 松下 年子		

令和4(2022)年度

支部活動報告



川崎支部	横浜北支部	横浜西支部	横浜南支部	横須賀支部	相模原支部	小田原支部	湘南支部	県央支部
川崎区 幸区 中原区 高津区 多摩区 宮前区 麻生区	鶴見区 神奈川区 港北区 緑区 青葉区 都筑区	保土ヶ谷区 旭区 瀬谷区 戸塚区 栄区 泉区	中区 西区 南区 港南区 磯子区 金沢区	横須賀市 三浦市 鎌倉市 逗子市 葉山町	緑区 中央区 南区	秦野市 小田原市 伊勢原市 南足柄市 箱根町 湯河原町 真鶴町 山北町 開成町 松田町 大井町 中井町	平塚市 藤沢市 茅ヶ崎市 大磯町 二宮町 寒川町	大和市 綾瀬市 厚木市 海老名市 座間市 愛川町 清川村

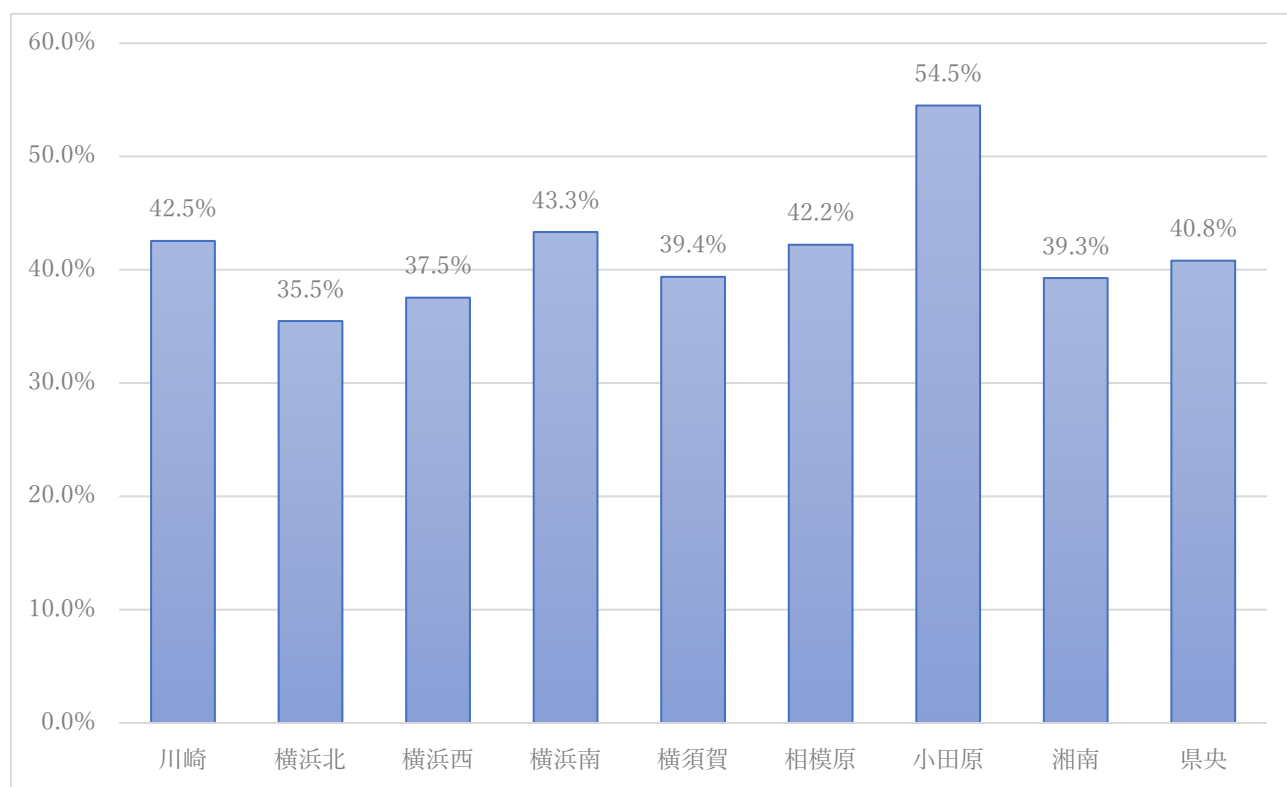
令和４年度 支部別・職能別会員の状況

(令和５(2023)年３月３１日現在)

支 部	保健師(男性)	助産師	看護師(男性)	准看護師(男性)	計	地 区 別 就業者数
川 崎	108 (7)	226	5,659 (442)	98 (8)	6,091 (457)	14,317
横 浜 北	36 (5)	209	4,271 (310)	58 (9)	4,574 (324)	12,894
横 浜 西	70 (9)	115	3,630 (279)	48 (2)	3,863 (290)	10,291
横 浜 南	122 (4)	241	4,673 (386)	24 (0)	5,060 (390)	11,678
横 須 賀	69 (2)	70	2,645 (247)	38 (1)	2,822 (250)	7,167
相 模 原	67 (1)	104	3,006 (322)	29 (0)	3,206 (323)	7,596
小 田 原	71 (5)	107	3,511 (432)	39 (3)	3,728 (440)	6,841
湘 南	76 (3)	118	3,329 (350)	45 (5)	3,568 (358)	9,086
県 央	36 (1)	71	2,504 (258)	37 (2)	2,648 (261)	6,490
退職後施設不明	48 (3)	49	1,927 (173)	24 (2)	2,048 (178)	—
計	703 (40)	1,310	35,155 (3,199)	440 (32)	37,608 (3,271)	86,360

※ () は内数

令和４年度 地区別就業者数に対する入会率



川崎支部

支部長 本館 教子

I 活動目標

- 1 保健・医療・福祉の知識の普及を通して看護職の質の向上を図ると共に、地域住民の健康の保持増進に努める。
- 2 看護協会活動推進の啓蒙及び会員数の増加、会員相互の交流を深める。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 研修会等の開催
- 2) 看護フェスタ in 武蔵小杉への参加
- 3) まちの保健室の開催

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【川崎市ナースিং センター】	1) 理事会等の報告・情報交換 2) 研修会の企画・実施・評価 3) 次年度活動計画・予算案の検討 4) 研究まとめ 5) 審議事項の検討	全 13 回	8 名
研 修 会 【同 上】	テーマ：「コロナ禍特有のメンタルヘルスについて学ぶ」 講 師：川崎市立井田病院 臨床心理士 福島 沙紀	R4. 5. 20(金)	18 名
	テーマ：「急変時の看護」 講 師：聖マリアンナ医科大学病院 診療看護師 原島祐貴、阿部浩幸、齋藤 洋平	R4. 7. 15(金)	47 名
	テーマ：「レジリエンス ～折れない心で働き続けるために～」 講 師：オフィスナースナレッジ 代表 江口 智子 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	R4. 9. 16(金)	中 止
	◆ハイブリット形式で実施 テーマ：「意思決定支援に関する本当に大切なこと ～真の患者中心の医療をめざして～」 講 師：琉球大学医学部付属病院 臨床倫理士 金城 隆展	R4. 10. 21(金)	39 名
研 修 会 【聖マリアンナ医科大学 ミュージアムセンター】	<新人フォローアップ研修> テーマ：「多重課題への対応」 講 師：川崎支部委員	R4. 11. 29(火)	22 名
研 修 会 【川崎市ナースিং センター】	テーマ：「看取りにおける多職種連携について ～医師の立場より～」 講 師：相模原市国民健康保険 内郷診療所 所長 医学博士 土肥 直樹	R5. 1. 20(金)	19 名
そ の 他 【武蔵小杉駅前】	1) 看護フェスタ 武蔵小杉駅コアパーク広場 広報活動	R4. 5. 13(金)	約 36 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 支部大会・講演会の開催
- 2) KANAGAWA 看護だより支部コーナーを活用し、看護職の相互理解や看護に関する情報を発信する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【川崎市ナースिंग センター】	1) 令和3年度支部活動報告、会計報告 2) 令和4年度支部活動計画、予算案報告	R4.6.23(木)	22名
講演会 【同上】	テーマ：「看護職のキャリアデザインと支援方法」 講 師：NPO 法人 看護職キャリアサポート 代表 濱田 安岐子		
その他	KANAGAWA 看護だより Vol.208 2023 年 1 月号支部コーナーに掲載		

横浜北支部

支部長 牛丸 良子

I 活動目標

- 1 横浜3支部（横浜北、横浜西、横浜南）で連携し、相互の連携に必要な知識を深め、地域住民の健康保持・増進に貢献する。
- 2 保健医療福祉に関する知識の普及を通して、看護の質向上・会員相互の交流を深める。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 地域連携の充実に向けるため情報共有と研修会を実施する。
- 2) 新採用看護職員の職場適応を促進するための研修会を実施する。
- 3) 地域住民への健康普及活動を行う。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定例会 【神奈川県看護協会】	1) 理事会・会議などの報告 2) 研修会の企画・実施・評価 3) 次年度事業・予算計画 4) 3支部合同企画の運営・評価 5) 新型コロナウイルス感染症や対応、各施設状況の情報交換	全10回	8名
研修会 【同上】	<新人フォローアップ研修> テーマ：「顔ヨガでリフレッシュしましょう」 講 師：顔ヨガ協会認定 フェイシャルヨガインストラクター 首藤 真樹子	R4.10.4(火)	8名
	<横浜北・横浜西・横浜南支部合同研修>（担当：横浜西支部） テーマ：「地域でACPを推進しよう ～病院と地域をつなぐ取り組み～」 講 師：聖隷横浜病院 がん専門看護師 根岸 恵	R4.12.9(金)	56名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
	＜横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催＞（担当：横浜南支部） テーマ：「大人の発達障害 ～共に働く私たちにできること～」 講 師：横浜市立大学附属病院 精神看護専門看護師 渡邊 香織	R5. 2. 9(木)	60 名
そ の 他	1) 健康普及パンフレット配布 配布部数：約 1,000 部 横浜北支部中心に行政・地域住民への配布	R4. 1 月～配布	

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 支部活動を通じて情報共有と会員間の相互交流を図る。
- 2) 支部大会、研修会などを通じて入会を促進する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【神奈川県看護協会】	＜横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催＞ ※新旧委員のみの参加とした 1) 会長挨拶 2) 各支部長報告 2021 年度活動報告、2022 年度活動計画案 3) 3 支部新旧役員紹介	R4. 7. 4(月)	29 名
講 演 会 【同 上】	＜横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催＞（担当：横浜北支部） テーマ：「災害対策本部の立ち上げから運営方法を学ぶ ～看護管理者ができること～」 講 師：横浜労災病院 救命救急センター長・救急科災害医療部部長 中森 知毅		80 名

横浜西支部

支部長 川上 純子

Ⅰ 活動目標

- 1 横浜 3 支部（横浜北、横浜西、横浜南）で連携し、相互の連携に必要な知識を深め、地域住民の健康保持・増進に貢献する。
- 2 保健医療福祉に関する知識の普及を通して、看護の質向上・会員相互の交流を深める。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 地域包括ケアシステムの推進につながる研修会を継続し、啓発活動を実施する。
- 2) 看護実践能力向上のための研修会の実施
- 3) 地域住民の健康保持・増進への支援

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 理事会・関連会議等の報告 2) 研修会の企画、運営、評価 3) 次年度事業・予算計画	全 10 回	8 名
研 修 会 【神奈川県看護協会】	◆オンライン形式で実施 テーマ：「摂食嚥下ケア ～誤嚥性肺炎を起こさないためにできること～」 講 師：国際親善総合病院 脳卒中リハビリテーション看護 特定認定看護師 進藤 たかね 言語聴覚士 丸山 みずか	R4. 9. 2(金)	17 名
	<新人フォローアップ研修> テーマ：「高めよう フィジカルアセスメント力 深めよう 仲間同士の交流を」 講 師：国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 集中ケア認定看護師 溝畑 勤	R4. 10. 11(火)	24 名
	<横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催> (担当：横浜西支部) テーマ：「地域で ACP を推進しよう ～病院と地域をつなぐ取り組み～」 講 師：聖隷横浜病院 がん看護専門看護師 根岸 恵	R4. 12. 9(金)	56 名
	<横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催> (担当：横浜南支部) テーマ：「大人の発達障害 ～共に働く私たちにできること～」 講 師：公立大学法人横浜市立大学附属病院 精神看護専門看護師・臨床准教授 渡邊 香織	R5. 2. 9(木)	60 名
そ の 他 【仏向地域ケアプラザ ふくろうカフェ】	まちの保健室活動 介護と看護の連携業務 ※地域住民向け テーマ：「感染対策の基本」講義/手洗い演習 講 師：横浜保土ヶ谷中央病院 感染看護認定看護師 杉浦 三智子	R4. 11. 17(木)	15 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) ホームページや KANAGAWA 看護だより等の広報誌を活用した情報提供及び事業内容の広報
- 2) 支部活動の充実と組織力強化の推進
- 3) 支部大会・研修会等での看護協会未入会者への啓発

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【神奈川県看護協会】	<横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催> ※新旧委員のみの参加とした 1) 会長挨拶 2) 各支部長報告 2021 年度活動報告、2022 年度活動計画案 3) 3 支部新旧役員紹介	R4. 7. 4(月)	29 名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
講 演 会 【神奈川県看護協会】	<横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催>（担当：横浜北支部） テーマ：「災害対策本部立ち上げから運営方法を学ぶ ～看護管理者ができること～」 講 師：横浜労災病院 救命救急センター長・救急科災害医療部部長 中森 知毅		80 名

横浜南支部

支部長 辻村 陽子

I 活動目標

- 1 横浜3支部（横浜北、横浜西、横浜南）で連携し、相互の連携に必要な知識を深め、地域住民の健康保持・増進に貢献する。
- 2 保健医療福祉に関する知識の普及を通して、看護の質向上・会員相互の交流を深める。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 地域連携の充実に向けたため情報共有と研修会を実施する。
- 2) 看護職員の実践能力向上に向けた研修会を実施する。
- 3) 新採用看護職員の職場適応を促進するための研修会を実施する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 理事会・関連会議等の報告、情報交換 2) 横浜3支部合同役員会の実施 3) 研修会の企画・運営・評価 4) 次年度活動計画(事業内容・予算) 5) 新型コロナウ イ ルス感染症対応に関する情報交換 等	全 11 回	8 名
研 修 会 【同 上】	テーマ：「嚥下機能を知ろう ～口から食べることを支援するために～」 講 師：横浜市立大学附属病院 摂食嚥下障害看護特定認定看護師 富井 ルミ	R4. 10. 17(月)	22 名
	<横浜北・横浜西・横浜南支部合同研修>（担当：横浜西支部） テーマ：「地域で ACP を推進しよう ～病院と地域をつなぐ取り組み～」 講 師：聖隷横浜病院 がん専門看護師 根岸 恵	R4. 12. 9(金)	56 名
	<新人フォローアップ研修> テーマ：「呼吸・循環のフィジカルアセスメント ～日常業務での 悩みや不安の共有、自分にできることを見出す～」 講 師：横浜市みなと赤十字病院 集中ケア認定看護師 植田 幸子	R5. 1. 6(金)	26 名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
研 修 会 【神奈川県看護協会】	＜横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催＞（担当：横浜南支部） テーマ：「大人の発達障害 ～共に働く私たちにできること～」 講 師：横浜市立大学附属病院 精神看護専門看護師 渡邊 香織	R5. 2. 9(木)	60 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 支部活動を通して情報提供と会員間の相互交流を図る。
- 2) 支部大会、研修会などを通じて入会を促進する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【神奈川県看護協会】	＜横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催＞ ※新旧委員のみの参加とした 1) 会長挨拶 2) 各支部長報告 2021 年度活動報告、2022 年度活動計画案 3) 3 支部新旧役員紹介	R4. 7. 4(月)	29 名
講 演 会 【同 上】	＜横浜北・横浜西・横浜南支部合同開催＞（担当：横浜北支部） テーマ：「災害対策本部立ち上げから運営方法を学ぶ ～看護管理者ができること～」 講 師：横浜労災病院 救命救急センター長・救急科災害医療部部長 中森 知毅		80 名

横須賀支部

支部長 伊藤 佳子

Ⅰ 活動目標

- 1 研修会・講演会を通して看護職能としての資質向上を図る。
- 2 関連団体との連携協力し、地域住民の健康保持・増進に貢献する。
- 3 公益的事業を展開し、看護協会活動の啓発・普及活動に努める。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 定例会の開催
- 2) 地域包括ケアシステムの構築を推進した研修会、講演会の企画・運営
- 3) 看護・介護実践報告会の企画・運営
- 4) 市民の健康への啓蒙・普及活動（まちの保健室）

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【産業交流プラザ】 【ウェルシティ市民プラザ】	1) 理事会報告 2) 令和4年度事業計画の企画・運営・評価 3) 事業・予算計画 ※8月は書面開催、1月はオンライン開催	全 12 回	9 名
研 修 会 【ウェルシティ市民プラザ】	＜新人フォローアップ研修＞ テーマ：第1部「みんなで考えよう！患者さんの変化に気づくには？」 講 師：横須賀市立うわまち病院 急性・重症患者看護専門看護師 伊藤 清恵 テーマ：第2部「メンタルヘルス研修 ～仲間との語りを通して今の自分に気づこう～」 講師：横須賀共済病院 精神看護専門看護師 河野 伸子	R4. 7. 14(木)	19 名
	テーマ：「Well-being 社会に向かうキャリアデザインの考え方」 講 師：NPO 法人 看護職キャリアサポート代表 濱田 安岐子	R4. 10. 18(火)	16 名
	テーマ：「認知症、困った時の対応方法！ ～事例を通して学ぼう～」 講 師：医療法人財団青山会 福井記念病院 看護師長 栃原 大輔（日本認知症ケア学会認定資格 認知症ケア専門士）	R5. 2. 9(木)	34 名
そ の 他 【同 上】	◆ハイブリッド形式で実施 「看護・介護実践報告会」（演題7題） 講 評：湘南医療大学 教授 渡邊 真理	R4. 11. 19(土)	44 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 支部大会を通し、医療・福祉・介護の交流及び看護協会入会促進を図る。
- 2) 会員への情報提供と会員間の相互理解を図る。
- 3) 支部活動機能の充実と組織化を図る。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【ウェルシティ市民プラザ】	◆ハイブリッド形式で実施 1) 令和3年度事業・会計報告 2) 令和4年度事業計画・予算計画報告 3) 新旧役員紹介 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため最低限の人数とした	R4. 6. 21(火)	37 名
講 演 会 【同 上】	◆ハイブリッド形式で実施 テーマ：「神奈川県看護協会の将来構想」 講 師：公益社団法人神奈川県看護協会 会長 長野 広敬		

相模原支部

支部長 阿部 徳子

I 活動目標

- 1 公益目的事業の推進を図る。
- 2 関連団体と連携し、地域社会への社会貢献と看護の普及活動に努める。
- 3 研修会を通して看護職の質の向上及び会員相互の交流に努める。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 看護師等の資質向上を図るための研修会や看護研究発表会等を開催する。
- 2) 相模原市関連団体や相模原市看護部長会と連携し、地域住民の健康維持増進に貢献する。
- 3) 相模原市の災害医療の充実に向け、市総合防災訓練及び救護所訓練、研修会等への参加、協力を行う。
- 4) 看護フェスティバル及び研修会を通して看護の普及活動を行う。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【相模原市ウェルネス さがみはら】	1) 理事会、関連団体等会議報告・情報共有 2) 研修会、講演会、研究発表の企画運営・実施評価	全 12 回	9 名
研 修 会 【相模原市民会館】	<新人フォローアップ研修> テーマ：「お笑い元看護師が伝える職場が元気あふれるセミナー ～お笑いの力（フォース）でお悩みすっきり解消～」 講 師：MEA（マトリックス・エデュケーション・アカデミー） 代表 荻野 真紀	R4. 10. 25(火)	37 名
記念講演会 シンポジウム 【相模原市民会館】	◆ハイブリッド形式で実施 テーマ：「人生の最終段階における意思決定をどう支えるか」 シポジスト： 特別養護老人ホームケアラザ さがみはら 常任理事 大塚 小百合 相模原南消防署 総括副主幹 大貫 肇 国立病院機構相模原病院 副看護師長 沢田 希	R4. 9. 27(火)	35 名
研究発表会 【相模原市ウェルネス さがみはら】	◆ハイブリッド形式で実施 1) 看護研究発表会（演題 8 題） 座 長：相模原看護専門学校 校長 水澤 晴代 相模野病院 看護部長 出口 孝子 2) 講演会 テーマ「看護研究入門 研究計画の基本」 講 師：北里大学看護学部 生活支援看護学 准教授 田辺 幸子	R5. 1. 21(土)	43 名
そ の 他 【さがみはら健康フェスタ】	さがみはら健康フェスタ 1) 正しい手指消毒とマスクのつけ方	R5. 3. 18(土)	

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 「看護だより」のコーナーやホームページを活用し、事業内容や会員の活動等の情報を提供する。

- 2) 看護研究発表会や研修会等で非会員の入会促進活動を行い、組織強化を図る
- 3) 会員及び施設間の情報交換・交流を図る

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【相模原市ウェルネス さがみはら】	◆ハイブリッド形式で実施 1) 令和3年度事業・会計報告 2) 令和4年度事業・予算計画報告 3) 新旧役員紹介	R4. 6. 28(火)	47 名
講演会 【同上】	◆ハイブリッド形式で実施 テーマ：「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）を知る、 気づく、対処する～ひとりひとりがイキイキと活躍するために～」 講 師：アンコンシャスバイアス研究所 理事 太田 博子		

小田原支部

支部長 小澤 美紀

I 活動目標

- 1 研修会・講演会を通じ地域の看護の質向上及び看護職相互の交流を深める。
- 2 地域住民の健康の保持増進に貢献する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 研修会・講演会の企画・運営
- 2) 看護研究支援と発表会の開催
- 3) 看護協会活動の広報・普及

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定例会 【鶴巻温泉病院、他】	1) 研修会の企画・運営・評価 2) 理事会等の報告・情報交換 3) 次年度事業・予算計画 4) 新型コロナウイルス感染症対応に関する情報交換 等	全10回	9 名
研修会 【おだわら総合医療福祉会館】	テーマ：「事例から学ぶ臨床倫理」 講 師：東海大学医学部付属病院 基礎診療学系医療倫理学領域 教授 竹下 啓	R4. 7. 23(土)	40 名
	<新人フォローアップ研修> テーマ：「メンタルヘルス ～しなやかな自分をつくるレジリエンス～」 講 師：オフィスナースナレッジ 代表 江口 智子	R4. 10. 15(土)	81 名
研修会 【松田町生涯学習センター】	テーマ：地域の自然環境と災害 ～地域の想定被害などから 医療現場で取り組むことは何か考えよう」 講 師：東海大学 建築都市学部 土木工学科 教授 三神 厚	R4. 11. 12(土)	62 名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
研究発表会 【おだわら市民交流センター（NECO）】	看護研究発表会（演題 9 題） 座 長：1. 独立行政法人国立病院機構 神奈川病院 看護部長 澁澤 盛子 2. 医療法人社団綾和会間中病院 看護部長 岩本 亜紀 講 評：国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科 教授 谷山 牧	R5. 1. 21（土）	63 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 支部活動を通じ、地域の看護職員間の交流を促進する。
- 2) 会員への広報と情報提供により働く環境の改善を促進する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【おだわら総合医療福祉会館】	1) 令和 3 年度 事業報告・決算報告 2) 令和 4 年度 事業計画・予算報告	R4. 6. 18（土）	74 名
講 演 会 【同 上】	テーマ：「認知症の方への対応 ～症例を通じて考えよう～」 講 師：公益社団法人積善会曾我病院 認知症疾患医療センター長 早川 典義		

湘南支部

支部長 山岡 澄代

Ⅰ 活動目標

- 1 研修会・講演会を通し、看護の質向上を図るとともに、会員相互の交流に努める。
- 2 神奈川県看護協会事業の広報および地域貢献に努める。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 看護師等の資質向上に向けた研修会の企画の開催
- 2) 地域住民に役立つ講演会の開催

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【茅ヶ崎市立病院】	1) 研修会・講演会の企画・実施・評価 2) 理事会報告 3) 事業・予算計画 ※7、9、11、1 月はオンライン会議	全 10 回	9 名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【茅ヶ崎市立病院】	1) 研修会・講演会の企画・実施・評価 2) 理事会報告 3) 事業・予算計画 ※7、9、11、1月はオンライン会議	全 10 回	9 名
市民公開講座 【藤沢労働会館】	テーマ：「マインドフルネス ～自分の気持ちと身体との向き合い方～」 講 師：精神科・心療内科医 臨済宗建長寺派 林香寺住職 川野泰周	R4. 10. 22(土)	看護職 13 名 市民 20 名
研 修 会 【茅ヶ崎市立病院】	＜新人フォローアップ研修＞ テーマ：「新人ナースのフィジカルアセスメント ～現場で役立てよう！すぐに使えるアセスメントと報告～」 講 師：藤沢市民病院 集中ケア認定看護師 水野 洋子	R4. 12. 17(土)	16 名
	テーマ：「意思決定支援に関する本当に大切なこと ～真の患者中心の医療を目指して～」 講 師：琉球大学病院 地域・国際医療部 金城 隆展	R5. 2. 18(土)	43 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 神奈川県看護協会および支部における事業内容や活動等の情報を提供する。
- 2) 支部大会・研修会等を通して協会活動を広報し、非会員の入会を促進する

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【茅ヶ崎市立病院】	◆オンライン形式で実施 1) 令和3年度活動報告・決算報告 2) 令和4年度活動計画・予算案 3) 新旧役員引継ぎ	R4. 6. 25(土)	64 名
講 演 会 【同 上】	テーマ：「看護現場をよりよくするしかけ ナッジ活用術」 講 師：慶應義塾大学 看護医療学部 大学院健康マネジメント研究科 准教授 小池 智子		

県央支部

支部長 吉村 由紀

Ⅰ 活動目標

- 1 研修会、看護研究発表会を通じ、看護の質向上および会員相互の交流を深める。
- 2 保健・医療・福祉に関する知識の普及活動を行い、地域住民の健康保持、増進に寄与する。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 看護実践能力向上のための研修会の開催

- 2) 看護研究発表会の開催
- 3) まちの保健室の開催

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【アミューあつぎ】	1) 理事会、その他会議報告 2) 看護研修会・研究発表会・まちの保健室の企画・運営・評価	全 12 回	各 9 名
研 修 会 【神奈川工科大学 IIエクステンションセンター】	＜新人フォローアップ研修＞ テーマ：「新人看護師のメンタルヘルス」 講 師：東京都立多摩総合医療センター 精神看護専門看護師 栗原 順子	R4. 11. 10(木)	21 名
	テーマ：「アンガーマネジメント」 講 師：日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントファシリテーター 成瀬 由紀子	R4. 1. 13(金)	30 名 看護補助者 8 名含む
研究発表会 【同 上】	看護研究発表会（演題 8 題） 講 評：神奈川工科大学 健康医療科学部看護学科 精神看護学教授 柴田 真紀 座 長：神奈川リハビリテーション病院 副看護部長 渡辺 美和	R4. 9. 10(土)	36 名
そ の 他	まちの保健室 1) 血管年齢測定、握力測定・健康相談 2) 子供白衣体験	R4. 11. 12(土)	1) 280 名 2) 15 名

Ⅲ 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 支部大会および講演会
- 2) ホームページや広報誌などを通して、事業内容や活動の情報を提供する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
支部大会 【神奈川工科大学 IIエクステンションセンター】	1) 令和 3 年度事業報告および会計報告 2) 令和 4 年度事業計画および予算報告 新旧委員紹介	R4. 6. 23(木)	26 名
講 演 会 【同 上】	テーマ：「看護って楽しい」 講 師：座間総合病院 副院長兼看護部長 竹村 華織		
そ の 他	KANAGAWA 看護だより 支部コーナー掲載 Vol. 209 号 2023 年 3 月号 「視野を広げる看護研究発表会」		

令和4(2022)年度

協会事業研修報告

【教育研修：看護実践能力】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
看護の日常にある倫理を考えよう①	オンライン	7/22	38	35
看護の日常にある倫理を考えよう②	オンライン	10/28	40	37
感染防止対策の基本	オンライン	9/20	54	48
リスクセンスを高める（基礎編）～ベッドサイドで行う安全対策～	オンライン	9/26	53	47
フィジカルアセスメント（基礎編） ～根拠に基づく看護実践を目指して～①	集合	7/13	92	67
フィジカルアセスメント（基礎編） ～根拠に基づく看護実践を目指して～②	オンライン	1/11	62	52
がん患者の看護～診断から看取りまで～	オンライン	10/17, 18	30	29
実践に活かす糖尿病の最新知識～糖尿病患者のセルフケア支援～	オンライン	12/5	31	27
小児看護～フィジカルアセスメントと家族ケア～	オンライン	9/15	18	16
その人らしさを支える高齢者看護	オンライン	11/10	46	44
よくわかる周術期管理 ～外科的治療を受ける患者を支える看護師の役割～	オンライン	11/22	47	44
事例から学ぼう褥瘡予防とケアの実践①	集合	7/27	110	93
事例から学ぼう褥瘡予防とケアの実践②	集合	2/1	62	55
慢性心不全患者の看護～疾患の理解からセルフケア支援まで～	オンライン	11/18	42	37
摂食嚥下障害のある患者の看護	オンライン	9/21	66	62
チームで働くために必要なコミュニケーション	オンライン	9/9	40	33
地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援①	オンライン	10/11	59	55
地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援②	集合	1/19	53	48
フィジカルアセスメント（応用編） ～複雑な状況を判断するために～①	集合	6/13	48	44
フィジカルアセスメント（応用編） ～複雑な状況を判断するために～②	オンライン	11/4	36	33
家族看護～患者・家族を理解し支援するために～	オンライン	12/2	39	34
《NPO 法人日本 ACLS 協会 共催研修》 AHA BLS プロバイダーコース～一次救命処置～	集合	9/3	30	30
《NPO 法人日本 ACLS 協会 共催研修》 AHA PEARS プロバイダーコース～乳児・小児初期評価～	集合	11/3	20	17
《JNA 収録 DVD 研修》認知症高齢者の看護実践に必要な知識①	集合	8/4, 5	135	115
《JNA 収録 DVD 研修》認知症高齢者の看護実践に必要な知識②	オンライン	9/13, 14	89	87
《JNA 収録 DVD 研修》認知症高齢者の看護実践に必要な知識③	オンライン	10/20, 21	80	80
回復力を高める栄養管理～看護師が行う栄養アセスメントと管理～	オンライン	11/7	39	38
高齢者支援と認知症患者の看護①	オンライン	11/15, 16	83	78
高齢者支援と認知症患者の看護②	オンライン	2/14, 15	82	81
チームで取り組む倫理的課題と対応	オンライン	11/11	41	39
地域包括ケアシステムにおける多施設・多職種との連携	オンライン	11/2	47	43

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
糖尿病患者のフットケア（糖尿病合併症管理料算定特別研修）	オンライン 集合	12/5, 6, 7	68	67

【教育研修：組織的役割遂行能力／自己教育・研究能力】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
やってみよう！看護研究 ～量的・質的研究のきほん～	集合	6/27, 30	52	48
チーム運営に必要なリーダーシップ①	オンライン	10/14	66	62
チーム運営に必要なリーダーシップ②	集合	2/17	69	64
相手とわたしのためのアンガーマネジメント①	ハイブリット	8/6	74	会場 20 オンライン 47
相手とわたしのためのアンガーマネジメント②	集合	2/18	46	43
実地指導者研修Ⅰ ～はじめての新人教育～＜神奈川县委託事業＞	集合	7/7, 8	69	63
実地指導者研修Ⅱ ～リフレクションを通して自己の指導実践を意味づける～＜神奈川县委託事業＞	オンライン	9/6	36	33
実地指導者研修Ⅲ ～教育に活かそう！コーチング～＜神奈川县委託事業＞	ハイブリット	8/9	67	会場 8 オンライン 47
看護学生とともに育つ臨地実習指導	集合	6/15	70	68
中堅看護師支援研修 ～イキイキと働き続けるために～①	オンライン	9/2	36	26
中堅看護師支援研修 ～イキイキと働き続けるために～②	オンライン	12/15	23	19
リスクセンスを高める（応用編） ～インシデント分析から安全対策の提案まで～	集合	2/2, 3	59	54
感染リンクナースのための感染管理①	集合	7/11, 12	109	105
感染リンクナースのための感染管理②	オンライン	1/16, 17	49	45
看護記録の質向上を目指して ～形式監査・質監査～①	集合	6/10	69	66
看護記録の質向上を目指して ～形式監査・質監査～②	オンライン	12/13	52	48
教育担当者研修Ⅰ ～部署の教育を考えよう！経験から学ぶことのできる部署づくり～	オンライン	11/1	54	49
教育担当者研修Ⅱ～院内の教育を考えよう！教育プログラムの立案・運営・評価～＜神奈川县委託事業＞	集合	1/24, 25	40	36
主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識①【1回目】※	集合	7/5, 6	133	66
主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識①【2回目】	ハイブリット	8/1, 2	53	会場 8 オンライン 38
主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識②	集合	2/7, 8	75	69
主任看護師が取り組む問題解決①	オンライン	9/5	78	68
主任看護師が取り組む問題解決②	集合	1/23	62	53
看護師長に求められる看護管理 ～質管理における問題解決～＜神奈川县委託事業＞	集合	10/31	39	36
自部署の強みを引き出すデータ活用	オンライン	10/24	60	57
キャリア支援のためのクリニカルラダーの活用＜神奈川县委託事業＞	集合	1/31	25	24
組織のビジョンに基づく看護管理者の意思決定＜神奈川县委託事業＞	オンライン	12/22	32	26
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①	オンライン	9/16	187	179
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②	オンライン	12/21	195	182

※主任看護師に必要なマネジメントの基礎知識①は、応募者が定員を大幅に上回ったため、2回に分けて開催した

【医療安全・災害看護・感染症対策研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
医療安全管理者養成研修 2020・2021 年度修了者フォローアップ研修	オンライン	8/8	37	30
医療安全管理者養成研修	eラーニング ①② オンライン	eラーニング ①11/1～1/5 ②1/17～1/30 オンライン演習 2/6	129	126
医療安全講演会	集合	12/23	178	159
看護管理者のための感染予防・管理研修	オンライン	8/6	93	80
災害看護マネジメント研修 ～災害に強い組織づくり～	オンライン	6/4	65	61
《JNA 収録 DVD 研修》 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～①	オンライン	6/14, 15	80	69
《JNA 収録 DVD 研修》 災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎知識～②	オンライン	8/2, 3	95	84
災害看護実務編研修 ～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～①	オンライン	9/16, 22	34	25
災害看護実務編研修 ～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～②	オンライン	10/31, 11/2	60	49
災害看護実務編研修 ～被災地で活動する災害支援ナース育成研修～③	集合	1/16, 17	50	30
災害支援ナースフォローアップ研修	集合	12/20	115	97

【医療安全・災害看護・感染症対策委託研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
横浜市委託研修 横浜市災害支援ナース登録推進研修	集合	11/29	40	31
横浜市委託研修 横浜市災害支援ナースフォローアップ研修	集合	1/29	25	22
神奈川県委託研修 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修会	集合	2/19	41	38
日本看護協会委託研修 新型コロナウイルス対応看護職員養成研修	オンデマンド	12/22～ 2/4	県で応募	177

【地域看護研修・介護保険施設等看護研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
訪問看護師養成講習会（eラーニング）	eラーニング 集合 実習	6/2～11/21 （計 12 日間）	52	52
訪問看護入門研修	集合 実習	①6/1, 2 ②7/13, 14 ③9/14, 15 ④11/9, 10 ⑤1/11, 12 （各 2 日間）	196	160
地域連携のための相互研修会	集合 実習	①7/28～10/3 ②1/12～2/28 （各 3 日間）	117	111

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会	集合 ハイブリッド 実習	8/24～10/13 (計 11 日間)	68	66
重度重複障がい者等支援看護師養成研修	集合	10/8	88	71
介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル)	オンライン・集合	5/25, 6/9, 28	57	55
介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル)	オンライン・集合	9/27, 10/12, 20	58	52
介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	オンライン・集合	12/1, 8, 14	51	46
訪問看護ステーション管理者研修①②③	ハイブリッド	①5/28 ②6/18 ③7/23, 12/17	185	172
訪問看護現任者研修①②③④	ハイブリッド	①5/21 ②6/11 ③11/19 ④1/21	286	248
訪問看護現任者研修⑤ 高齢者の終末期看護研修(ELNEC-JG)	会場	2/4, 5	69	51
精神科訪問看護基本療養費算定研修会	オンライン	11/5, 12, 12/10	36	33

【ナースセンター事業研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
〈キャリア継続支援研修〉 キャリアをつなぐ、わたらしい生き方とは～あきらめない～	集合	3/3	186	149
〈職場定着支援研修〉 就職定着自己学習会① 採血	集合	5/31	18	6
〈職場定着支援研修〉 就職定着自己学習会② 採血	集合	6/21	13	10
〈職場定着支援研修〉 就職定着自己学習会③ 採血	集合	7/15	6	4
〈職場定着支援研修〉 就職定着自己学習会④ 採血	集合	9/8	17	9
〈職場定着支援研修〉 就職定着自己学習会⑤ 採血	集合	11/17	7	4
〈職場定着支援研修〉 就職定着自己学習会⑥ 採血	集合	1/13	8	5
〈職場定着支援研修〉 e ラーニングコース	オンライン	4/1～3/31	36	30
〈再就業支援研修〉 復職支援研修① 現場で役立つ感染管理の知識と技術	集合	6/29	36	32
〈再就業支援研修〉 復職支援研修② 安全に行う採血と筋肉注射の技術	集合	7/26	50	30
〈再就業支援研修〉 復職支援研修③ 高齢者施設での看護(認知症)	集合	9/29	20	16
〈再就業支援研修〉 復職支援研修④ 急変時のフィジカルアセスメントと救急蘇生法	集合	11/29	35	29
〈再就業支援研修〉 復職支援研修⑤ 安全に行う静脈穿刺の技術と点滴管理	集合	1/20	35	29

【社会経済福祉委員会研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
ヘルシーワークプレイスを目指して「働きやすい環境を作るために管理者としてできること」	オンライン	6/9	114	93

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
ヘルシーワークプレイスを目指して「看護管理者がイキイキ働ける労務管理」	オンライン	11/5	95	75

【准看護師検討委員会研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
食ることから排泄まで／高齢者の日常生活援助	ハイブリット	6/3	会場 21 オンライン 6	会場 20 オンライン 5
進学支援会/フィジカルアセスメント	ハイブリット	12/3	会場 23 オンライン 3	会場 21 オンライン 3

【その他の研修・教育支援】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
がんばれ！新人ナース!!	集合	5/25	602	589
小規模施設に勤務する看護職員研修 フィジカルアセスメントの基礎 ～新人看護師～	集合	6/1	56	51
小規模施設に勤務する看護職員研修 【キャリア支援Ⅰ～中堅看護師～】	集合 または オンライン	全 7 日間	10	10
小規模施設に勤務する看護職員研修 【キャリア支援Ⅱ～看護管理者～】	集合 または オンライン	全 7 日間	16	15
看護研究推進支援事業		6 月～2 月	6	6
教育計画・事業(案)説明会	オンライン	2/22	77	79 (アカウント数)
施設オープンセミナー	各施設による開催		＜協力施設＞ 19 施設 ＜研修数＞ 延 118 研修 (うち 7 研修中止) ＜参加人数＞ 延 1,187 人＋α (参加人数不明研修あり)	

【トピックス研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	集合	5/15, 19, 22	延 633	537

【横浜市委託事業：横浜市看護職員フォローアップ研修】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
講義：コロナ禍の再就職 ～とまどい・不安を和らげるための対応を知る～ グループトーク：ナースセンター相談員と語ろう 『とまどいを楽しむ』	集合	10/6	4	4
講義：コロナ禍における高齢者の認知症対応 ～認知症専門病棟でのクラスター体験から～ グループトーク：ナースセンター相談員と語ろう 『とまどいを楽しむ』	集合	11/9	5	5
講義：就職後にとまどうコロナ感染対策を学ぶ グループトーク：ナースセンター相談員と語ろう 『とまどいを楽しむ』	集合	1/18	4	3

【厚生労働省：新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業】

テーマ	開催方法	開催日	応募者	受講者
<スキルアップ研修①> 講義：小児の新型コロナウイルス感染症とワクチン接種 看護技術演習：筋肉注射	集合	6/23	31	24
<スキルアップ研修②> 講義：新型コロナウイルス感染症入院患者の看護 看護技術演習：静脈注射の知識・技術と輸液管理について	集合	7/29	31	中止
<スキルアップ研修③> 講義：かながわ緊急酸素投与センターにおける看護師の役割 ～神奈川モデル～ 新型コロナウイルス感染症肺炎の看護 看護技術演習：スクイージングの演習と事例検討	集合	8/23	22	12
<スキルアップ研修④> 講義：新型コロナウイルス感染症入院患者の看護 看護技術演習：静脈注射の知識・技術と輸液管理について	集合	9/16	24	21
<スキルアップ研修⑤> 講義：今すぐ役立つ感染対策の知識と技術～ゾーニングの考え方～ 看護技術演習：感染防護具の着脱（N95 マスクの着脱）	集合	12/8	32	23
<スキルアップ研修> ① e ラーニング単独コース ② e ラーニングと集合研修の組み合わせコース	オンライン	4/1～3/31	-	①33 ②68

認定教育課程事業

● ファーストレベル

期間：令和4(2022)年5月12日(木)～令和4(2022)年8月26日(金) 27日間(週2～3日)

定員：70名

	応募者数	採用者数	受講者数	修了者数
全科目履修者	92	77	75	75
科目履修者	0	0	0	0
合計	92	77	75	75

教科目	単 元	教 育 内 容	時 間
ヘルスケアシステム論Ⅰ	社会保障制度概論	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	15
	保健医療福祉サービスの提供体制	・保健医療福祉制度の体系 - 地域包括ケアシステム - 地域共生社会	
	ヘルスケアサービスにおける看護の役割	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種との理解 ・看護の社会的責務と業務基準 - 看護関連法規 - 倫理綱領 - 看護業務基準	
組織管理論Ⅰ	組織マネジメント概論	・組織マネジメントに関する基礎知識 ・看護管理の基礎知識 ・人間関係論	26
	看護実践における倫理	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	
人材管理Ⅰ	労務管理の基礎知識	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理(メンタルヘルスを含む) ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	30
	看護チームのマネジメント	・チームマネジメント ・コミュニケーション ・看護ケア提供方式 ・リーダーシップとメンバーシップ ・ファシリテーション ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者への活用	
	人材育成の基礎知識	・成人学習の原理 ・役割理論 ・動機づけ理論 ・人材育成の方法	

資源管理Ⅰ	経営資源と管理の基礎知識	・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解 ・看護活動の経済効果	15
	看護実践における情報管理	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題（情報リテラシー） ・看護管理に必要な情報の収集と活用方法	
質管理Ⅰ	看護サービスの質管理	・サービスの基本概念 ・看護サービスの安全管理 ・看護サービスと記録 ・看護サービスの質評価と改善	15
統合演習Ⅰ	演習	・学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対策を立案する（発表）	15
合 計			116
特別講義	レポートの書き方	・レポートとは何か ・レポートの構成や執筆に必要となる文章表現の技術	3
	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの機会を看護マネジメントに活用する意義 ・プレゼンテーションを振り返り、自身の弱みと強みを理解する	3

● セカンドレベル

期間：令和4(2022)年10月6日(木)～令和5(2023)年2月24日(金) 38日間（週2～3日）

定員：45名

	応募者数	採用者数	受講者数	修了者数
全科目履修者	52	51	50	50
科目履修者	0	0	0	0
合 計	52	51	50	50

教科目	単 元	教 育 内 容	時 間
ヘルスケアシステム論Ⅱ	社会保障制度の現状と課題	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費(財源)の構造と推移	15
	保健医療福祉サービスの現状と課題	・保健医療サービスの提供内容の実際 病院 看護小規模多機能型居宅介護 訪問看護ステーションなど	
	ヘルスケアサービスにおける多職種連携	・多職種によるチームケア提供の実際と課題	
組織管理論Ⅱ	組織マネジメントの実際	・組織分析 ・組織の変革 ・組織の意思決定	30
	看護管理における倫理	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	

教科目	単 元	教 育 内 容	時 間
人材管理Ⅱ	人事・労務管理	・人員配置 ・勤務計画 ・ワークライフバランスの推進 ・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント ・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	45
	多職種チームのマネジメント	・人材資源の活用 ・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント ・看護補助者の育成	
	人材を育てるマネジメント	・キャリア開発支援 ・人材育成計画	
資源管理Ⅱ	経営資源と管理の実際	・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果 ・適切な療養環境の整備	15
	看護管理における情報活用	・看護の評価・改善のための情報活用	
質管理Ⅱ	看護サービスの質保証	・クオリティマネジメント - 医療・看護におけるクオリティマネジメント - クオリティマネジメントにおける情報の活用 - 方法・文献の読み方	30
	安全管理	・安全管理の実際 ・安全管理教育 ・法令遵守 ・災害対策	
統合演習Ⅱ	演習	・自部署について、組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する ・改善計画書の立案の仕方 ・グループ学習	42
	実習	・地域連携を理解するための他施設実習を行う	6
合 計			183
特別講義	生活と環境	・大気汚染と生活	3

● フォローアップ研修

テーマ	開催日	対象者	応募者	受講者
令和3年度修了者 セカンドレベルフォローアップ研修	9/15	40	30	27
令和4年度修了者 ファーストレベルフォローアップ研修	3/4	75	55	50
セカンドレベル修了者交流研修	10/22	－	36	32

常任委員会活動報告

推薦委員会

委員長 阿部 愉貴子

Ⅰ 活動目標

- 1 公益社団法人神奈川県看護協会定款第25条に基づき、令和5(2023)年6月総会で任期満了になる役員について、看護協会活動を理解し、その任務を遂行できる人材を選出する。

Ⅱ 法人管理事業

1 活動内容

- 1) 令和5(2023)年度改選役員の推薦

- (1) 推薦および立候補の呼びかけ

- (2) 協会活動を推進するためにふさわしい役員の推薦

推薦基準：神奈川県看護協会の目的に沿って、組織を強化発展させるよう実践できる人

会員歴が3年以上の人

会員の実情をよく知り、定められた会議に出席して、それを反映できる人

公益社団法人神奈川県看護協会定款第21条に規定する役員の欠格事由に該当しない人

- (3) 候補者名簿の作成及び会員への提示

- 2) 総会時の選挙に関する活動

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定例会 【神奈川県看護協会】	1) 令和4年度活動計画、定例会開催日検討 2) 推薦用紙の配布について(「KANAGAWA 看護だより1月号」掲載原稿の承認) 3) 令和5年度事業計画および予算計画書の作成について	R4.9.8(木)	8名
	1) 令和5年度改選役員の推薦方法の検討および推薦・立候補の呼びかけについて 2) 令和5年度活動計画および定例会開催日について	R4.12.2(金)	7名
	1) 令和5年度改選役員候補者・推薦者の確認 2) 理事会掲出資料について 3) 令和5年度通常総会協力委員について 4) 令和5年度推薦委員会委員について 5) 令和5年度推薦委員会日程について	R5.3.2(木)	7名
	1) 令和5年度改選役員候補者名簿の確認 2) 令和5年度通常総会について 3) 推薦委員会委員の交代と役割分担について 4) 年間計画について 5) 令和4年度事業実施報告について	R5.4.20(木)	6名

社会経済福祉委員会

委員長 奥山 洋子

Ⅰ 活動目標

- 1 健康で安全に働き続けられる労働環境についての情報や学習の機会を提供する。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 労働条件や労働環境についての情報収集及び情報提供をする。
- 2) 看護職の働き方改革の推進事業について学ぶ機会を提供する。
- 3) 医療現場における具体的事例とその対応について学ぶ機会を提供する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 研修会の企画・運営・評価 2) ヘルシーワークプレイスに関する情報収集 3) ヘルシーワークプレイスに関する研修実績のまとめ	全 11 回	8 名
研 修 会	研修・講演会等の実績については、p. 46【社会経済福祉委員会研修】を参照		

教育研修委員会

委員長 折内 奈津江

I 活動目標

- 1 社会のニーズに応じた看護ができるよう教育研修の充実を図る。
- 2 専門職としての知識を高め、主体性をもった看護が展開できる能力を養うため、会員の継続教育を支援する。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 令和 4（2022）年度教育研修の運営・評価
- 2) 令和 5（2023）年度教育研修の企画
- 3) 教育研修委員会定例会の開催
- 4) 教育研修委員の研修会開催

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
研修運営 【神奈川県看護協会】	1) 教育研修の開催（延 61 研修・76 日間） 2) 各研修運営に関わる委員派遣回数（延 76 日間・114 名）	延 76 日間	延委員数 114 名
	教育研修の開催実績については、pp. 43-44【教育研修】を参照		
企画会議 【同 上】	令和 5（2023）年度教育研修の企画（延 60 研修・73 日間を予定） 開催方法別内訳：集合研修 34／オンライン研修 12 ラダー種別による内訳：JNA ラダー22／KNA ラダー23	全 3 回（集合）	委員 21 名 事務局 5 名
定 例 会 【同 上】	1) 教育研修の実施評価（研修評価および運営評価） 2) 各研修の応募倍率の共有と、臨床現場の現状の意見交換 3) 教育研修評価に関わる「受講後アンケート」「研修評価表」の見直し 4) 教育研修委員会研修の企画・運営他	全 8 回 オンライン 1 回 集合 7 回	委員 21 名 事務局 5 名

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
委員会研修 【同 上】	テーマ：研修評価表をもう一度、考えてみよう！ 講師：学校法人湘南ふれあい学園 湘南医療大学 保健医療学部 看護学科 塩田 美佐代	R4. 9. 3(土) オンライン開催	委員 21 名 事務局 5 名 前年度委員 1 名 他県および他機関員 3 名
そ の 他	1) 第 24 回神奈川看護学会 運営協力 2) 令和 5（2023）年度教育計画・事業（案）説明会への出席	R4. 11. 26(土) R5. 2. 22(水)	委員 3 名 委員 1 名

広報出版委員会

委員長 箕輪 有美子

I 活動目標

- 1 広報誌発行を通じて、看護協会の活動を看護職及び県民に周知し、看護への理解を深めてもらう。
- 2 看護職及び県民の視点に立ち、健康増進やニーズにあった新しい情報を提供する。
- 3 新規会員獲得のために会員にとって有益な情報を発信する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 広報誌「KANAGAWA 看護だより」の企画・編集・発行
 - (1) 県民の健康増進を図ると同時に、看護への理解を促進する企画の立案
 - (2) 協会が関わる行事やイベントの取材と原稿執筆、編集
 - (3) 広報誌「KANAGAWA 看護だより」の発行

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	広報誌「KANAGAWA 看護だより」の企画・編集 ※4、5、8、9、10、12、1、3 月はオンライン会議と併用開催	全 12 回	10 名
広報誌発行	1) 発行実績 204 号 (R4. 5 月) 34,700 部／205 号 (R4. 7 月) 36,000 部 206 号 (R4. 9 月) 36,200 部／207 号 (R4. 11 月) 37,200 部 208 号 (R5. 1 月) 37,200 部／209 号 (R5. 3 月) 35,900 部	年 6 回	
取 材 先	1) 看護フェスティバル 2022(みなとみらいクイーンズサークル) 2) 通常総会 3) ビッグレスキューかながわ(葉山) 4) かながわ訪問看護フェスティバル(県総合医療会館 7 階) 5) 第 24 回 神奈川看護学会(パシフィコ横浜)	R4. 5. 7(土) R4. 6. 17(金) R4. 10. 16(日) R4. 10. 22(土) R4. 11. 26(土)	委員 1 名 委員 1 名 委員 1 名 委員 1 名 委員 2 名

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 会員獲得に向けて、会員サービスの周知

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
会員への PR	会員読者「お年玉プレゼント」の企画、掲載、募集、抽選 当選者 58 名への賞品の発送等	看護だより 208 号 R5.1 月号	408 名

業務委員会

委員長 堀尾 美穂

I 活動目標

- 1 2040 年の超高齢社会に向けた看護業務の在り方を考える。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 超高齢社会を見据えた多様な看護業務のあるべき姿について考える。
- 2) 県内の病院・施設の看護サマリーについて調査し、有効な看護サマリーについて考察する。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 「看護サマリー標準化に向けた調査」に向けて内容検討 2) 看護研究倫理審査申請に向けて書類作成 3) 看護研究倫理審査会の結果を受けて、今後の活動内容の検討 4) 委員系列 ST でサマリーの現状確認と委員会での提案 5) 施設訪問に向けて企画書・情報収集する内容等の検討	全 12 回	8 名
調査研究 【神奈川県看護協会】	「看護サマリー標準化に向けた調査」 ※検討の結果、中止とした	(中 止)	中止

会員委員会

委員長 大木 容子

I 活動目標

入会率 50%以上を達成し、維持する

- 1) 効果的な戦略を実施し、新規入会者を増やし、退会者を減少させる。
- 2) 看護協会入会・活動の意義を認識できるような PR 活動を行う。

II 法人管理事業

1 活動内容

- 1) 入会状況の分析・評価をし、職能別に効果的な入会アピールを検討する。
- 2) 2 年目ナース交流会の開催、交流の場を提供し、入会および継続につなげる。
- 3) 入会案内リーフレット作成および送付

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 会員数の報告 2) 入会案内リーフレットの見直し 3) 2 年目交流会の開催・施設見学の企画 ※11、2 月は中止	全 9 回 (11, 2 月中止)	8 名
交流会・施設見学 【神奈川県看護協会】	1) 2 年目ナースの情報交換の場を提供し、自分だけではないという 安心感、思いを共有・共感する。 2) 看護協会が身近で頼れる場所であることを知ってもらい、入会お よび継続につなげる。	R4. 11. 28(月)	42 名

医療安全対策委員会

委員長 三上 久美子

I 活動目標

- 1 県下の医療・看護、介護サービス提供の場において、医療安全行動の情報提供と意識啓発を行うとともに、
質を担保した安全行動が実施できるよう支援する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 医療安全研修の支援
- 2) 医療安全講演会の支援
- 3) 県内の医療施設、介護福祉施設、居住等における医療・看護・介護安全対策に関する実施状況の把握
- 4) 医療・看護、介護職に向けた医療安全に関する情報発信

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 医療安全全般に関する情報交換と課題の確認 2) 医療安全情報のテーマの選定・情報収集 3) 医療安全ネットワーク交流会との情報交換・連携 4) 医療安全情報の企画・作成	全 9 回 (オンライン開催も含む)	8 名
医療安全情報発行	発行実績 1) No. 37 「安全な MRI 検査を実施するために」 令和 5 年 1 月発行 2) No. 38 「令和 4 年に発信された安全情報」 令和 5 年 3 月発行		
施設見学	令和 4 年 10 月 20 日(木) 15:00～17:00 ANA グループ安全教育センター/ANA Safety Education Center	R4. 10. 20(木)	10 名

災害救護対策委員会

委員長 馬野 由紀

I 活動目標

- 1 看護職並びに県民に向けて災害に関する知識・技術の普及・啓発を図る。
- 2 「災害支援ナース」制度の周知を図るとともに、その資質の向上に努め、登録者の増加を図る。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 災害看護研修の支援
- 2) 災害支援ナースの育成・登録推進
- 3) 看護職に向け災害看護・医療に関する情報発信
- 4) 県民に向け防災・減災に関する情報発信

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 発行物 「看護防災力 GO! vol. 16『ご存知ですか？福祉避難所』」発行 2) ビッグレスキューかながわ：展示内容等の検討 3) 「出前講座」：基本資料修正、各出前講座の内容検討、資料作成	全 8 回	8 名
そ の 他	1) かながわ看護フェスティバル：展示及びステージパフォーマンス、 チラシ配布 2) ビッグレスキューかながわ：展示及びデモンストレーション 3) 出前講座 (1) 横浜市不老町ケアプラザ (2) 藤沢市居宅介護支援事業連絡協議会・藤沢市共催 (3) 池子小学校区住民自治協議会・逗子市東部地域包括支援センター共催 4) チラシ配布 1) 2) 3) 以外に横浜市南区福祉保健センター、保育園防災訓練 (静岡県)、「備えるかわさき 2023」より依頼あり。今までの委員会 作成チラシを送付 5) 災害看護実務編研修、災害支援ナースフォローアップ研修への 運営協力(協力委員)	R4. 5. 7(土) R4. 10. 16(日) R4. 6. 29(水) R4. 11. 23(水) R4. 12. 12(月)	 10 名 36 名 14 名
研 修 会	研修・講演会等の実績については、p. 45【医療安全・災害看護・感染症対策研修】を参照		

神奈川看護学会運営委員会

委員長 門根 道枝

I 活動目標

- 1 看護実践のための新たな発想と活力が得られる学会を目指し、その企画・運営を図る。
- 2 県内の看護職が研究発表を通して交流できる場となる学会運営を行う。

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 神奈川看護学会の企画
- 2) 発表演題の選考
- 3) 神奈川看護学会の運営と開催
- 4) 看護研究奨励賞の選考

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 第 24 回神奈川看護学会の企画・運営に関する検討、評価 2) 第 25 回神奈川看護学会の企画に関する検討	全 4 回	委員 11 名 事務局 8 名
演題査読会議 【神奈川県看護協会】	1) 演題査読・発表演題の審査 (応募 39 演題 採択 35 演題 発表 35 演題)	全 1 回	委員 11 名 事務局 5 名
看護研究奨励 賞選考会議 【神奈川県看護協会】	1) 看護研究奨励賞の選考 (奨励賞 3 演題)	全 1 回	委員 9 名 事務局 5 名
学 会 【パシフィコ横浜】	第 24 回神奈川看護学会	R4. 11. 26 (土)	445 名

准看護師教育検討委員会

委員長 津江 優紀

I 活動目標

- 1 准看護師教育に関する現状の把握
- 2 准看護師の質向上・スキルアップへの支援

Ⅱ 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 准看護師の質向上のための研修の企画・運営・評価
- 2) 准看護師の進学支援に向けた、看護師養成関連機関との情報交換
- 3) 准看護師への進学支援と情報の発信

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 研修の企画・運営・評価 2) 次年度事業の計画の検討 3) 次年度研修会の企画	全 3 回	7 名
研 修 会	研修・講演会等の実績については、p. 47【准看護師教育検討委員会研修】を参照		

会 議 活 動 報 告

財政会議

議 長 長場 直子

I 活動目標

- 1 予算の執行状況及び決算内容について検証することにより、適正かつ安定した財政運営の確保に努める。

II 法人管理事業

1 活動内容

- 1) 予算の編成
- 2) 中長期の視点に立った予算編成の必要性について
- 3) その他財務運営に関すること

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	1) 令和 4(2022)年度予算の執行状況について 2) 令和 5(2023)年度予算の編成について 3) 研修センター取得積立資産について 4) その他	R4. 10. 17(月)	4 名

看護研究倫理審査会

委員長 長野 広敬

I 活動目標

- 1 本会の会員が行う、人を対象とした看護研究が本会の定めた審査基準に適合しているか否かに関し、倫理的観点から審査する。

II 法人管理事業

1 活動内容

- 1) 提出された看護研究の内容について、基準に基づき審査し、適切な看護研究を確保すると共に、看護の質の保証、研究対象者の権利擁護、研究者の支援を図る。

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
審 査 会 【神奈川県看護協会】	第 1 回 1) 公益社団法人神奈川県看護協会看護研究倫理審査会 開催 審査題数：4 題	R4. 8. 24(水)	委員 6 名 事務局 1 名
	第 2 回 ※オンライン開催 1) 公益社団法人神奈川県看護協会看護研究倫理審査会 開催 審査題数：1 題	R4. 10. 24(月)	委員 6 名 事務局 1 名

認定看護管理者教育運営会議

議長 高橋 恵

I 活動目標

- 1 認定看護管理者教育課程の教育理念である「多様なヘルスケアを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い看護サービスを提供することをめざし、看護管理者の資質と看護水準の維持向上のために、教育を通して保健医療福祉に貢献する」の達成に向け活動する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 認定看護管理者教育課程のカリキュラム検討及び実施後の評価
- 2) 認定看護管理者教育課程受講者の審査
- 3) 認定看護管理者教育課程受講者の修了審査
- 4) その他の必要事項の検討

2 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
定 例 会 【神奈川県看護協会】	第1回 ※オンライン開催 1) 令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルフォローアップ研修報告 2) 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル経過報告 3) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者選考 4) 認定看護管理者教育機関審査の結果報告	R4.6.10(金)	9名
	第2回 ※オンライン開催 1) 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル評価 2) 令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査 3) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座報告 4) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者交流研修報告	R4.8.17(水)	8名
	第3回 ※オンライン開催 1) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル評価 2) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座評価 3) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修評価 4) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了審査 5) 令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者選考 6) 令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了者交流研修実施報告と今後について	R5.2.15(水)	10名

令和4(2022)年度

ナースセンター事業及び

厚生労働省許可看護師等無料職業紹介所事業報告

神奈川県ナースセンター 廣島 博美

ナースセンターは、看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づき、就業促進及び就業継続のための研修事業、看護師等無料職業紹介事業、離職看護師等の届出制度の支援事業、訪問看護の支援事業、「看護の心」普及啓発事業を実施している。

令和4年度は、厚生労働より新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業を受託し、新型コロナウイルス感染症対応に従事する看護職へ相談事業及び研修事業を実施した。

事業	実施結果																																									
I 看護師等確保対策事業 I-1 看護職員の確保を図るための事業	1) 看護師等無料職業紹介 数値は、令和4年4月～令和5年3月の実績																																									
	(1) 施設別でみる求人状況 (単位：人)																																									
	<table><tr><th>施設別</th><th>計</th><th>病 院</th><th>診療所</th><th>訪問看護 ステーション</th><th>その他、 社会福祉施設</th></tr><tr><td>有効求人数</td><td>6,388</td><td>1,969</td><td>910</td><td>951</td><td>2,558</td></tr><tr><td>(前年度)</td><td>6,302</td><td>1,816</td><td>902</td><td>921</td><td>2,663</td></tr></table>	施設別	計	病 院	診療所	訪問看護 ステーション	その他、 社会福祉施設	有効求人数	6,388	1,969	910	951	2,558	(前年度)	6,302	1,816	902	921	2,663																							
	施設別	計	病 院	診療所	訪問看護 ステーション	その他、 社会福祉施設																																				
	有効求人数	6,388	1,969	910	951	2,558																																				
	(前年度)	6,302	1,816	902	921	2,663																																				
	(2) 地域別でみる求人状況 (単位：人)																																									
	<table><tr><th>地 域</th><th>計</th><th>横浜</th><th>川崎</th><th>横須賀</th><th>小田原</th><th>県央</th><th>湘南</th><th>相模原</th></tr><tr><td>有効求人数</td><td>6,388</td><td>3,048</td><td>883</td><td>457</td><td>319</td><td>541</td><td>599</td><td>541</td></tr><tr><td>(前年度)</td><td>6,302</td><td>3,084</td><td>843</td><td>487</td><td>298</td><td>475</td><td>638</td><td>477</td></tr></table>	地 域	計	横浜	川崎	横須賀	小田原	県央	湘南	相模原	有効求人数	6,388	3,048	883	457	319	541	599	541	(前年度)	6,302	3,084	843	487	298	475	638	477														
	地 域	計	横浜	川崎	横須賀	小田原	県央	湘南	相模原																																	
	有効求人数	6,388	3,048	883	457	319	541	599	541																																	
(前年度)	6,302	3,084	843	487	298	475	638	477																																		
(3) 職種別でみる求職者状況 (単位：人)																																										
<table><tr><th>資格別</th><th>計</th><th>保健師</th><th>助産師</th><th>看護師</th><th>准看護師</th></tr><tr><td>有効求職者数</td><td>3,908</td><td>457</td><td>94</td><td>3,200</td><td>157</td></tr><tr><td>(前年度)</td><td>5,991</td><td>585</td><td>120</td><td>5,040</td><td>246</td></tr><tr><td>就職者数</td><td>671</td><td>46</td><td>6</td><td>604</td><td>15</td></tr><tr><td>(前年度)</td><td>1,137</td><td>90</td><td>21</td><td>984</td><td>42</td></tr></table>	資格別	計	保健師	助産師	看護師	准看護師	有効求職者数	3,908	457	94	3,200	157	(前年度)	5,991	585	120	5,040	246	就職者数	671	46	6	604	15	(前年度)	1,137	90	21	984	42												
資格別	計	保健師	助産師	看護師	准看護師																																					
有効求職者数	3,908	457	94	3,200	157																																					
(前年度)	5,991	585	120	5,040	246																																					
就職者数	671	46	6	604	15																																					
(前年度)	1,137	90	21	984	42																																					
(4) 相談件数 (単位：人)																																										
<table><tr><th></th><th>計(前年度)</th><th>来 所</th><th>電 話</th><th>メール</th><th>〒/FAQ その他</th></tr><tr><td>求人相談</td><td>3,710 (3,652)</td><td>56</td><td>2,155</td><td>1,468</td><td>31</td></tr><tr><td>求職相談</td><td>4,038 (9,670)</td><td>248</td><td>1,036</td><td>2,739</td><td>15</td></tr><tr><td>進路相談</td><td>40 (52)</td><td>11</td><td>18</td><td>11</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>1,190 (5,245)</td><td>46</td><td>336</td><td>658</td><td>150</td></tr><tr><td>総計</td><td>8,978 (18,620)</td><td>361</td><td>3,545</td><td>4,876</td><td>196</td></tr><tr><td>参考(前年度)</td><td></td><td>394</td><td>8,203</td><td>9,773</td><td>250</td></tr></table>		計(前年度)	来 所	電 話	メール	〒/FAQ その他	求人相談	3,710 (3,652)	56	2,155	1,468	31	求職相談	4,038 (9,670)	248	1,036	2,739	15	進路相談	40 (52)	11	18	11	0	その他	1,190 (5,245)	46	336	658	150	総計	8,978 (18,620)	361	3,545	4,876	196	参考(前年度)		394	8,203	9,773	250
	計(前年度)	来 所	電 話	メール	〒/FAQ その他																																					
求人相談	3,710 (3,652)	56	2,155	1,468	31																																					
求職相談	4,038 (9,670)	248	1,036	2,739	15																																					
進路相談	40 (52)	11	18	11	0																																					
その他	1,190 (5,245)	46	336	658	150																																					
総計	8,978 (18,620)	361	3,545	4,876	196																																					
参考(前年度)		394	8,203	9,773	250																																					
	※神奈川県ナースセンター集計																																									

事 業	実 施 結 果
(I-1 看護職員の確保を図るための事業)	2) 求人施設支援 (1) 有効期限管理 (2) 求人票作成支援 3) 求職者支援 (1) メーリングリスト者への情報発信 (2) 就業支援 4) ハローワーク・ナースセンター連携事業 (1) 目的：人材確保対策コーナーのあるハローワークとナースセンターが連携することで、早期に就業支援を行う。 (2) 連携ハローワーク ハローワーク川崎北、横浜、藤沢、港北、川崎、戸塚、平塚の7か所 (3) 連絡調整会議：令和4年7月20日 10:30～12:00 出席者：神奈川県、神奈川労働局、公共職業安定所、神奈川県看護協会 (4) 巡回相談 日時：ハローワーク7か所 月1回(水曜日) 巡回時間：13:00～16:00 一人50分×3枠 ケース会議：巡回日の16:00～17:00 面談数：174人/252人 利用率：69.1% (前年：64.6%) (5) 連携対象求人支援 連携求人票数：647件 (事業所数：387施設、新規事業所数：31施設) e ナースセンターへの代行登録支援 (6) 連携求職者支援 求職者数：239人 (来所者：28人、研修参加者：25人) e ナースセンター経由の就職者数：22人 (7) 連携した相談・見学会の取り組み 介護デイ就職相談・面接会 1回 参加者数：24人 復職支援セミナー・就職相談会 5回 参加者数：46人 セミナー・面接相談会 1回 参加者数：8人 (8) 広報：ホームページの活用、求職者・届出者へチラシ配布 5) 離職看護師等の届出制度 (1) 届出数：6,873人 (2) e ナースセンター登録者：2,528人 (3) 届出時の就業状況：看護師等で就業中 : 2,416人 看護師等以外で就業中 : 340人 就職していない : 1,632人 就職していないが求職中 : 1,782人 それ以外 : 703人 (4) 届出後の無料職業紹介所利用による就職者数：218人 (5) 支援 ①届出登録へつなげる支援：155件 ②職業紹介システムへつなげる就業支援：211件 ③継続的な支援：メール・掲示板等で研修情報等の発信 1回以上 6) 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業 (1) 離職防止相談事業 相談件数：19件 (2) 潜在看護職員研修事業 年5回(中止1回) 応募140人 受講者80人 e ラーニング受講者101人 7) 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対応看護職員の人材調整事業 (1) 派遣依頼調整なし 潜在看護職員のメーリングリスト者1,828人情報提供

事業	実施結果
I-2 研修事業	p. 46【ナースセンター事業研修】 p. 47【横浜市委託事業 横浜市看護職員フォローアップ研修】を参照 p. 48【厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業】を参照 1) 研修後の就業数及び定着数 (1) 復職支援研修（受講者：136 人） 就業数：27 人 (2) 就職定着自己学習会（受講者：38 人） 定着数：23 人
I-3 情報提供事業及び関係団体との協力連携、広報等	1) 情報の提供 (1) 医療・看護・介護に関する DVD・VTR の貸し出し 計 68 本 (2) ナースセンター年報発行 令和 4 年 8 月 200 部発行 配布先：関連機関等 91 か所 2) 関係団体との協力連携 (1) 神奈川県看護職員確保対策連絡協議会及び神奈川県ナースセンター事業運営委員会の合同会議の開催 令和 4 年 10 月 25 日 (2) ナースセンター連絡会議の開催 令和 4 年 4 月 22 日 (3) 中央ナースセンターとの連携 ・都道府県ナースセンター事業担当者会議 Web 開催 令和 4 年 5 月 20 日 ・都道府県ナースセンター就業相談員研修 Web 開催 令和 4 年 8 月 26 日 ・キャリアコンサルタント研修 令和 4 年 10 月 11 日～令和 5 年 1 月 26 日 (4) かながわ福祉人材センターとの連携 ・求人情報交換（月 1 回） ・福祉施設等就職相談会・セミナーへ相談員派遣 1 回 令和 4 年 8 月 5 日 (5) 県看護協会「がんばれ！新人ナース!!」での講話と記念品の配布 令和 4 年 5 月 25 日 (6) ナースセンターご案内リーフレットの配布 ・求職者、求人施設、関係機関へ 5,500 枚 (7) 県内看護学校等養成校との連携 ・働くためのサポートブック「はたさぽ」卒業年度学生：3,160 部送付（卒業記念品：携帯用ポーチ） ・卒業講話：3 校 （平塚看護大学校、よこはま看護専門学校、相模原看護専門学校） (8) 講師派遣 ・高等学校 6 校（県立緑園高校、県立金井高校、県立城郷高校、 県立横浜明朋高校、県立上溝南高校、川崎市立川崎高校） ・中学校 1 校（横浜市立本宿中学校）
II 看護の心普及啓発事業	1) 進路相談事業 (1) 進路相談の実施（相談件数等は前掲 I-1 参照） (2) 進路の個別相談の実施 2) 看護フェスティバルへの参加・協力 ・「一日看護体験」の情報集約と案内（4 月 1 日～8 月 31 日） ・実施施設 66 施設 2,994 人 3) 「やさしさがキャリアになる」の発行：県と共同作成 8,500 部 ・中学（466 校）高等学校（208 校）への配布

神奈川県看護協会訪問看護ステーション報告

かがやき訪問看護ステーション

所 長 原田 伸子

Ⅰ 事業目標

1 訪問看護事業

- 1) 多様なニーズに応じて、適正な継続看護を行うことができる。
- 2) 医療・介護・福祉関係者等多職種と積極的に協働して、地域の特性を知る。
- 3) 職員全員で、健全な職場づくりに取り組むことが出来る。

2 居宅介護支援事業

- 1) 適正な事業運営を行いながら、地域との繋がりを強化することが出来る。
- 2) 質の高いケアマネジメント力を付けることで、利用者、スタッフ共に、満足度の高い事業所となる。

Ⅱ 活動内容

項 目	内 容
1 職員体制	管理者 1 名 副所長 1 名 常勤看護師 7 名 非常勤看護師 12 名 事務職員 3 名 主任介護支援専門員 1 名 介護支援専門員 7 名 (兼務 常勤 4 名、非常勤 3 名)
2 事 業	1) 訪問看護事業 平均利用者数 225 名/月、平均訪問延件数 1125 回/月、在宅看取り 50 名/年 新型コロナウイルス感染が蔓延する中、退院当日のケア指導や入院時の引継ぎなど、スムーズ対応を実施した。健全な職場づくりの一環として、残業に対しての改善策を検討している。 2) 居宅介護支援事業 ケアプラン作成数 60 名/月。病院や地域包括支援センターとの連携を広め、看護部門と連携して、ターミナルや医療依存度の高いケースに対応した。 3) 「まちの保健室」事業 「藤沢市民まつり」への参加を予定していたが、悪天候にて開催中止となった。 4) 喀痰吸引等研修事業 事業所 3 か所・受講者 7 名。神経難病や小児訪問看護を受け入れている事で、需要が続いている。 5) 訪問看護ステーション教育支援事業を継続した。(参加者 65 名・同行訪問 2 名)
3 教 育	1) 定期カンファレンスで、呼吸器の扱いや理学療法士による演習などを取り込み、具体的な学びに繋がった。
4 実習生の受け入れ	看護学生(8 校 40 名)、地域連携のための相互研修会(2 名)、訪問看護養成研修 (2 名)、認定管理者教育セカンドレベル研修 (6 名)
5 連 携	医療的ケア児の支援に対し、市の行政機関等とのつながりを深めた。

項 目	内 容
6 今後の課題	地域に根ざした大規模ステーションとあり続けるための、組織づくりと人材育成。 地域での役割を活かした連携の強化。働き続けられる職場づくり。

Ⅲ 次年度の目標

1 訪問看護事業

- 1) 多様なニーズに応じて、適正な継続看護を行うことができる。
- 2) 医療・介護・福祉関係者等多職種と積極的に協働して、地域の特性を知る。
- 3) 職員全員で、健全な職場づくりに取り組むことが出来る。

2 居宅介護支援事業

- 1) 適正な事業運営を行いながら、地域との繋がりを強化することが出来る。
- 2) 質の高いケアマネジメント力を付けることで、利用者、スタッフ共に、満足度の高い事業所となる。

あかしあ訪問看護ステーション

所 長 神田 真理恵

I 事業目標

1 訪問看護事業

- 1) 多様なニーズに対応できる、より質の高い訪問看護の提供
- 2) 多職種連携、看看連携を充実させ地域住民が安心できる地域作りに参画する。
- 3) 安定した経営と働きやすい職場環境の整備

II 活動内容

項 目	内 容
1 職員体制	所長（管理者） 1 名 常勤看護師 4 名 非常勤看護師 9 名 事務職員 2 名
2 事業	1) 訪問看護事業 平均利用者数 148 名/月、平均訪問延件数 669/月、在宅看取 27 名/年 小児～高齢者、精神疾患、終末期まで幅広く訪問看護を提供。利用者の意思決定支援に重点を置き事例検討を重ねてきた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には所内での感染対策を柔軟に変更しながら安全に訪問できるように体制を整えた。担当者会議や退院前カンファレンスの開催数減少に対して、日ごろから関係性作りができていた為、退院当日の支援等連携はスムーズであった。 2) 「まちの保健室」事業 新型コロナ感染拡大の影響で地域のイベントが中止となったため、今年度は、Zoom で ACP について開催し、住民の意見や感想を聞くことができた。 3) 働き方の工夫を行い安定した経営を維持できた。
3 教 育	所内研修計画に基づき計画的に実施。外部講師（関係機関 OT）によるリハビリテーション研修や協会立 ST の合同研修（記録に関する研修）に全員参加できた。
4 実習生の受け入れ	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対しては、半日実習へ体制を変更し、看護学生（7 校 18 名）の実習を受けることができた。
5 連 携	1) 茅ヶ崎市立病院との訪問看護出向事業の実施（2 か月間） 2) 退院前カンファレンスへの参加 3) 緩和ケア認定看護師 2 名が在宅緩和ケアチームミーティング参加（Zoom） 4) 委員として「茅ヶ崎市介護事業者連絡協議会医療部会」に参加（Zoom） 5) 茅ヶ崎市・寒川町在宅医療介護連携推進事業多職種連携研修会参加 6) クリニックとの定期的なカンファレンスに参加（ZOOM で 6 回/年）
6 今後の課題	機能強化型Ⅲステーションとして地域貢献ができる体制作り 5 年後を見据えた人材確保と次世代育成の充実 活躍の場が多様化している看護師同士の連携の充実 安定した経営と管理者、常勤者の働き方改革の実施

III 次年度の目標

1 訪問看護事業

- 1) 緩和ケア認定看護師を中心に多様な症例に対応可能な質の高い看護を提供できる。
- 2) 多職種連携、看看連携を充実させ地域住民が安心できる地域づくりに参画する。
- 3) 安定した経営を維持しつつ、管理者、常勤者の働き方改革の実施

おいそ訪問看護ステーション

所 長 都 築 理 絵

I 事業目標

1 訪問看護事業

- 1) 多様なニーズに対応し質の高い看護を提供できる。
- 2) 医療機関や他事業所との連携、協働を深め地域に貢献する。
- 3) 安定した経営と働きやすい職場づくり

2 居宅介護支援事業

- 1) 質の高いケアマネジメントができる。

II 活動内容

項 目	内 容
1 職員体制	所長（管理者） 1 名 常勤看護師 3 名 非常勤看護師 9 名 事務職員 3 名 介護支援専門員 4 名（兼務：常勤 2 名、非常勤 1 名、専任：非常勤 1 名）
2 事 業	1) 訪問看護事業 平均利用者数 134 名/月、平均訪問延件数 641 件/月、緊急時加算 65%、夜間 休日の平均緊急訪問件数 11 件、在宅での看取り 45 件/年 2) 居宅介護支援事業 ケアプラン作成件数 平均 52 件/月、認定調査 9 件/年 3) 「まちの保健室」事業 大磯チャレンジフェスタに参加し、地域住民との交流を深め、健康の増進に貢 献をするとともに訪問看護や事業所の PR を行った。
3 教 育	研修計画に基づき研修会に各自出席。オンラインでの会議や研修が多かった。所内 で伝達講習を行い知識や技術の向上に努めた。
4 実習生の受け入れ	看護学生(3 校 12 名)、地域連携のための相互研修会(4 名)、訪問看護入門研修会(1 名)
5 連 携	・中郡在宅看護連携協議会、中郡在宅医療介護連携支援センター、大磯町高齢者福 祉計画策定等委員会、地域ケア会議、地域精神保健福祉連絡協議会、地域包括ケ ア、地域在宅医療推進協議会等の委員として活動している。 ・新型コロナウイルス感染による自宅療養者に対し、看護師が電話による 24 時間 健康観察を行う「地域療養の神奈川モデル」への参加
6 今後の課題	・人材の育成により組織力を強化し、働きやすい職場環境づくりを行う。 ・関係医療機関の事業継承や地域包括支援センターの再編成等、地域の変化をとら え、利用者の安定的な確保をはかる。

III 次年度の目標

1 訪問看護事業

- 1) スキルアップに努め、質の高い看護を提供できる。
- 2) 訪問看護のアピールに努め、医療機関や他事業所との連携・協働を深める。
- 3) 安定した経営と働きやすい職場づくり

2 居宅介護支援事業

- 1) 質の高いケアマネジメントができる。
- 2) 安定した経営、基準を遵守した件数調整ができる。

洋光台訪問看護ステーション

所 長 豊田 まゆ美

I 事業目標

1 訪問看護事業

- 1) 求められる医療ニーズに対応可能な、質の高い看護を提供できる。
- 2) 地域での連携協働を積極的に行い、地域での役割を果たせる看護活動ができる。
- 3) 安定した経営を維持し、学びやすく働きやすい職場環境を作ることができる。

II 活動内容

項 目	内 容
1 職員体制	所長（管理者） 1 名 常勤看護師 5 名 非常勤看護師 5 名 事務職員 3 名
2 事業	1) 訪問看護事業 平均利用者数 170 名/月、平均訪問延件数 780 件/月、在宅看取り 43 名/年 コロナ感染拡大が続いた中、職員の感染対策を行いながら訪問看護を提供。小児・精神・終末期まで広く訪問看護を提供。特に終末期看護の依頼は増加している。 2) 「まちの保健室」事業 洋光台地域連合町内会から依頼があり、年度内 2 回行われた地域イベントに健康相談コーナーとして参加。参加した地域住民からは、毎年恒例行事として期待しているという声も聞かれ地域貢献ができた。
3 教 育	所内研修計画に基づき計画的に実施した。 各自の研修参加については、伝達講習を行い学びは全体で共有した。
4 実習生の受け入れ	看護学生(7 校 33 名)、地域連携のための相互研修、セカンドレベル研修等地域連携に関する研修(19 名)半日ながら多くの研修生受け入れを行った。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から半日実習とした。
5 連 携	1) 横浜市立大学附属病院との訪問看護出向事業は新たな方策を模索しながら本年度で 4 年目が終了し双方が学びとなる事業展開が行えた。 2) 磯子区訪問看護ステーション連絡会、県訪問看護ステーション協議会等に積極的に参加し訪問看護の資質向上、多職種との連携強化に関する活動を積極的に行った。 3) 看護師の特定行為研修受講にあたり訪問診療専門クリニックと連携を取り特定行為に関する実習展開を地域医療で行なった。
6 今後の課題	職員の高齢化が進む中、看護師の人材確保と質の高い看護が提供できる教育体制の充実「専門性の高い看護師による訪問看護における看護の評価」加算に対応できる人材育成。

III 次年度の目標

1 訪問看護事業

- 1) 求められる医療ニーズに対応可能な質の高い看護を提供できる。
- 2) 地域での連携協働を積極的に行い、地域での役割を果たせる看護活動ができる。
- 3) 安定した経営を維持し、学びやすく働きやすい職場環境を作ることができる。

令和４年度神奈川県看護協会訪問看護ステーション活動報告

1. 訪問看護ステーション活動状況

(令和４年４月～令和５年３月)

		かがやき 訪問看護ステーション (H10. 7. 7 開設)	あかしあ 訪問看護ステーション (H10. 11. 4 開設)	おおいそ 訪問看護ステーション (H11. 9. 1 開設)	洋光台 訪問看護ステーション (H11. 12. 21 開設)
職員数(常勤換算)※1)		20. 7	12. 0	13. 2	11. 9
訪問延件数(件)		13, 505	8, 076	7, 719	9, 315
介護保険(人)		1, 786	1, 340	1, 157	1, 454
緊急時訪問加算(%)		78%	86%	70%	82%
特別管理加算(%)		27%	15%	21%	20%
退院時共同指導加算(回)		2	1	2	2
ターミナルケア加算(人)		10	7	9	10
医療保険(人)		905	454	449	588
24 時間対応体制加算(%)		69%	70%	55%	60%
特別管理加算(%)		33%	31%	30%	23%
難病等複数回訪問加算(日)		181	51	165	74
退院時共同指導加算(回)		3	1	2	3
退院支援指導加算(回)		19	12	15	24
乳幼児加算(日)		182	0	0	0
長時間訪問看護加算(日)		86	40	43	10
緊急訪問看護加算(日)		10	19	3	14
複数名訪問看護加算(回)		11	11	2	0
ターミナルケア療養費(人)		26	23	30	25
訪問看護内容	病状の観察	13, 505	8, 075	7, 720	8, 464
	清潔のケア・指導	9, 946	5, 713	5, 427	5, 066
	衣生活のケア・指導	5, 236	2, 015	2, 248	2, 214
	食事や栄養のケア・指導	2, 243	2, 631	2, 915	3, 234
	排泄のケア・指導	2, 330	1, 859	2, 277	1, 449
	睡眠のケア・指導	665	1, 713	1, 768	1, 825
	環境整備・調整	6, 000	3, 598	2, 550	1, 206
	リハビリテーション	7, 606	5, 351	3, 936	3, 363
	疾病や服薬の管理・指導	9, 721	4, 689	5, 108	6, 756
	カテーテルの管理	1, 694	242	353	321
	医療機器の管理	1, 634	457	578	402
	排泄処置	3, 325	1, 547	1, 759	1, 672
	皮膚処置	1, 231	816	1, 043	557
	吸引・吸入	1, 003	65	260	281
	点滴・注射	503	485	555	283
	麻薬等の管理	176	465	91	41
	検査	233	21	15	20
	その他医療処置	89	24	17	45
	精神的援助	13, 505	8, 075	7, 720	8, 464
	ターミナルケア	145	272	153	55
	介護相談	4, 857	5, 452	3, 981	1, 647
	家族支援	5, 757	4, 334	3, 740	3, 954
	主治医への報告・調整	796	907	459	338
	他機関との連絡調整	2, 135	1, 188	1, 150	656
	その他	28	39	13	6
緊急時対応	出動回数	319	164	142	133
	電話対応	192	273	97	373

※1) 職員数(常勤換算)は、看護師・介護支援専門員・事務職員、令和５年３月31日現在の合計数字

		かがやき 訪問看護ステーション	あかしあ 訪問看護ステーション	おいそ 訪問看護ステーション	洋光台 訪問看護ステーション
利用者実数（件）		341	246	230	297
年齢階級別	0～19 歳	14	1	0	1
	20～39 歳	8	4	7	4
	40～49 歳	12	9	11	10
	50～59 歳	15	9	19	13
	60～69 歳	27	21	9	18
	70～79 歳	74	45	53	70
	80～89 歳	122	96	77	105
	90 歳以上	69	61	54	76
保険別・介護度別	介護保険	要支援 1、2	51	19	36
		要介護 1	36	34	26
		要介護 2	32	37	55
		要介護 3	19	15	25
		要介護 4	17	15	23
		要介護 5	6	8	15
		申請中	28	35	19
	医療保険		57	67	98
主たる病名	悪性新生物		64	66	63
	感染症		2	1	0
	中毒・外傷など		0	2	0
	脳血管疾患		26	21	16
	循環器疾患		32	21	38
	呼吸器疾患		11	8	17
	消化器疾患		11	1	20
	筋・骨格系疾患		19	28	19
	内分泌疾患		13	6	12
	泌尿器・腎疾患		7	6	14
	皮膚疾患		6	8	11
	神経難病		9	8	11
	その他の難病		1	1	1
	精神疾患		35	30	67
	心身障害		1	4	2
	その他		9	19	6
終了者数(人)		123	92	103	123
終了者の状況	軽快・不変		9	4	14
	入院		17	20	33
	入所		27	17	20
	死亡（自宅）		28	46	42
	死亡（病院）		10	8	14
	その他		1	8	0

2. 居宅介護支援活動状況

介護支援専門員数*2)		専任 1 名 兼務 7 名
ケアプラン作成数(件)		713
要介護度別	申請中	10
	要支援 1、2	121
	要介護 1	233
	要介護 2	98
	要介護 3	121
	要介護 4	80
	要介護 5	50
認定調査数（件）		116

専任 1 名 兼務 3 名
620
1
111
135
176
98
47
52
9

*2) 介護支援専門員数は令和 5 年 3 月 31 日現在の数字

本 会 主 催 事 業 報 告

かながわ看護フェスティバル

「看護の心をみんなの心に」をテーマに、県民が看護について考える機会や理解を深める機会を提供し、看護に対する普及啓発活動を行うため、看護の日(5月12日)・看護週間を中心に県民が幅広く参加できる「かながわ看護フェスティバル2022」を開催した。

実施内容は、イベント来場者に向けて情報を発信する機会を作り、特に看護職進路相談コーナーは、毎年、相談者が多いため、ブースを増やし設置した。

今年は新たな試みとして、「看護協会紹介」や「コロナ禍の看護エピソード紹介」のパネルを展示し、若年層向けに「かながわ看護フェスティバル」フォトスポットを設置した。

また、コロナ以前に行っていたステージ催事も再開し、高校生による「手話パフォーマンス」や災害救護対策委員会による「災害時お役立ち情報」の紹介、マリンバ・パーカッション演奏等も行った。

さらに事業の一環とし、5月1日から8月31日まで、県内の病院、看護学校、福祉施設等で実施された一日看護体験への支援を行った。

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
イベント 【クイーンズスクエア横浜1F クイーンズサークル】	【ステージ】 1) 手話パフォーマンス（神奈川県立二俣川看護福祉高等学校） 2) マリンバ・パーカッション演奏（Hopscootch!） 3) 災害時お役立ち情報-身近なものでできる工夫- 4) 「看護学生の一日」「キラリ看護のシゴト」DVD上映 【相談コーナー】 1) 看護職進路・復職相談コーナー 【展示】 1) 看護職への応援メッセージボード 2) 訪問看護Q&A 3) 看護協会紹介パネル&コロナ禍の看護エピソード紹介パネル 4) ナース制服展示 5) フォトスポット 6) 感染予防情報コーナー 【一日のまちの保健室】 1) 脳年齢測定・血管年齢測定 2) 健康相談 【情報コーナー】 1) 災害時お役立ち情報 2) 未病対策・ベジチェック 3) ピンクリボン	R4. 5. 7(土)	延1,417名 関係者 57名
一日看護体験 【病院、看護学校、福祉施設等】	実施施設へのグッズやポスター等の提供	R4. 5. 1(日)～ R4. 8. 31(水)	66施設 2,994名

かながわ訪問看護フェスティバル

超高齢社会を迎え、最期を迎えたい場所として自宅を希望する国民が５割を超えている。地域でよりよく生きることをテーマに講演会を開催し、どのように暮らしていくことがよいかを県民の方々と共に考える。

同時に訪問看護についても広く周知し、訪問看護の魅力を伝えることを目的にかながわ訪問看護フェスティバルを実施した。

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
イベント 【神奈川県看護協会】	【講演会】 時 間：14:00～15:30（90 分間） テーマ：住み慣れた地域でよりよく生きる 支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～ 講 師：詩人・児童文学作家 藤川 幸之助 参加者：参加者 91 名（一般 39 名、医療従事者 51 名、不明 1 名） 関係者 34 名 時 間：13：30～15：30 【介護相談】 時 間：15:30～16:30 相談者：2 名 【健康チェック】 時 間：13：00～14：00、15：00～16：00 内 容：①血圧測定、酸素飽和度測定 ②ベジチェック、血管年齢測定（明治安田生命提供） 参加者：①20 名 ②不明 【介護相談】 時 間：講演会終了後～16:30 相談者：2 名 内 容：別居家族（親）の介護について 利用しているサービスへの不満 等 【就職相談】 時 間：講演会前後 相談者：2 名 内 容：訪問看護の紹介と入門研修の案内 【その他】 ・訪問看護の紹介動画 ・訪問看護の紹介・感染対策パネル展示 ・ノベルティグッズ、健康や介護に関する食品やパンフレット配布 ・横浜市「もしも手帳」配布	R4. 10. 22(土) 12:20～16:00	延 125 名

神奈川県看護協会医療安全推進ネットワーク

I 活動目標

医療安全管理者・医療安全推進担当者間で、医療安全管理を推進することに資する情報・問題等について、組織横断的に共有するために情報ネットワーク体制を運用し、有用な医療の安全管理情報を普及させることを目指す。

II 活動内容

- 1 交流会(年 11 回)
- 2 活動報告(医療安全管理者としての取り組み)
- 3 講演会 研修会の企画運営

III 活動の実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
交 流 会 【神奈川県看護協会】	第 1 回 交流会 (ハイブリッド形式で実施) 第 2 回 交流会 (ハイブリッド形式で実施) 第 3 回 交流会 (ハイブリッド形式で実施) 第 4 回 交流会 (ハイブリッド形式で実施) 第 5 回 交流会 (オンライン形式で実施) 第 6 回 交流会 (オンライン形式で実施) 第 7 回 交流会・医療安全講演会 (集合形式で実施) 第 8 回 交流会・FMEA 研修会 (集合形式で実施) 第 9 回 交流会 (オンライン形式で実施) 第 10 回 交流会 (オンライン形式で実施) 第 11 回 交流会 (ハイブリッド形式で実施)	R4. 5. 10(火) R4. 6. 3(金) R4. 7. 5(火) R4. 8. 10(水) R4. 9. 6(火) R4. 10. 5(水) R4. 11. 4(金) R4. 12. 14(水) R5. 1. 5(木) R5. 2. 7(火) R5. 3. 8(水)	32 名 41 名 28 名 26 名 30 名 29 名 40 名 23 名 29 名 22 名 23 名
医療安全講演会 【神奈川県看護協会】	【医療安全講演会】 第 7 回 交流会にて実施 テーマ：医療安全のためのヒューマンファクターズのアプローチ 講 師：早稲田大学理工学術院 創造理工学部経営システム工学科 人間生活工学研究室 教授 小松原 明哲	R4. 11. 4(金)	40 名
【グループウェア J-MOTTO】	ネットワークに入会した会員への医療安全管理情報の提供及び交換 の場として、電子会議室等を常時利用可能 ※年度ごとに情報を管理		

神奈川県医療事故防止対策事業実行委員会報告

神奈川県医療安全推進セミナー

当セミナーは、神奈川県医療安全対策事業として平成13年に神奈川県医療安全対策事業実行委員会として発足し、現在、神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県薬剤師会・神奈川県歯科医師会の6団体で構成し、各医療現場で取り組む医療安全管理に関する必要な情報・医療事故防止に関する普及活動及び講演会を行っている。

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日等	参加者数
会 議 【神奈川県薬剤師会】	1) 令和4年度第1回神奈川県医療安全対策事業実行委員会 (1) 神奈川県医療安全推進セミナー 実施要項 収支予算について (2) 令和4年度神奈川県医療安全推進セミナーの開催について	R4. 6 書面会議	13 名
	2) 令和4年度第2回神奈川県医療安全対策事業実行委員会 (1) 令和4年度神奈川県医療安全推進セミナーの開催について (2) その他	R4. 10. 11(火) オンライン会議	13 名
	3) 令和4年度第3回神奈川県医療安全対策事業実行委員会 (1) 本年度の事業終了に伴う関係書類の作成について (2) 次期幹事団体について	R5. 2 書面会議	13 名
セミナー 【神奈川県歯科保健 総合センター】	◆ハイブリッド形式で実施 テーマ : 診療所や薬局など小規模施設における 院内感染予防対策について 講 師 : 昭和大学歯学部歯科保健学講座 総合診療歯科学部門 客員教授 片山 繁樹	R4. 11. 20(日)	160 名